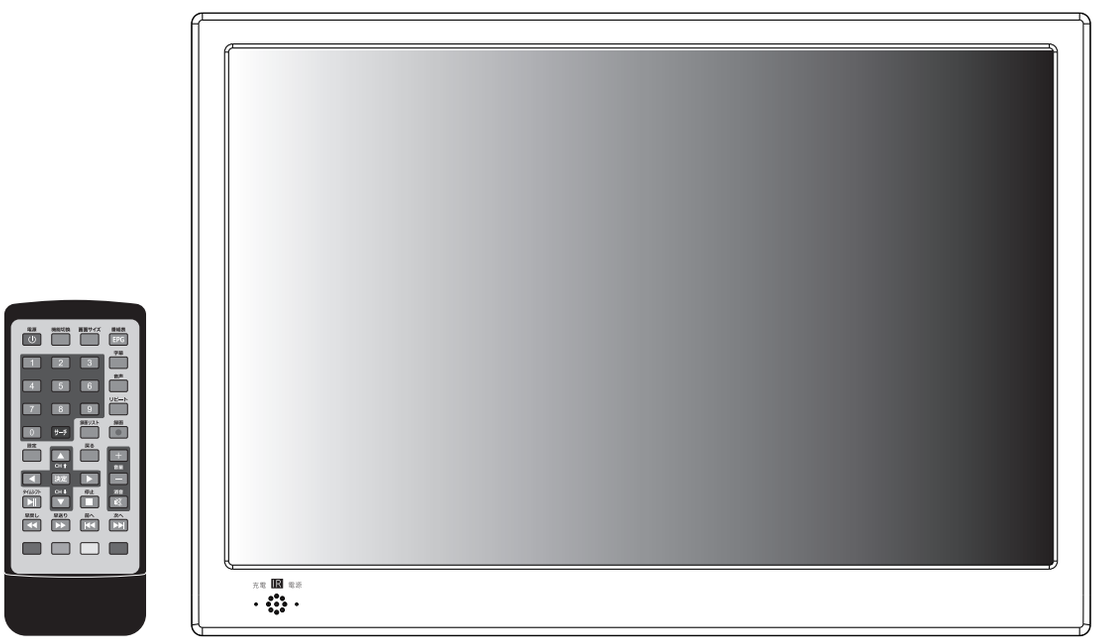
OVER TIME®

取扱説明書（保証書付き）

14.1 型ポータブルテレビ

品番 **OT-FT141TE**



【注意】USB外付けハードディスクをご使用の場合、本製品を初期化または修理をされますと録画データはご覧になれなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

このたびは弊社製品の液晶テレビをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

■ご使用前に必ずこちらの取扱説明書をお読みになり、内容を十分理解されたうえで正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は、ご使用になる人や周りの人の安全に関する内容を記載しているため、必ずお読みになり正しくお使いください。

■お読みになられたあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

■保証書は必ず販売証明書（レシートなど）と一緒に大切に保管してください。保証書の提示がない場合、保証期間内であっても所定のサービスを受けられない場合がございます。あらかじめご了承ください。

■本製品のパッケージや本書に記載されている以外の用途・方法でのご使用はお避けください。

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
※本製品は日本国内でのみご使用ください。
※本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
※発行元に許可なく本書の内容を複写、転写することを禁止します。
※掲載されているイラストや画像はイメージです。

もくじ

はじめに 3

安全上のご注意 3
使用上のご注意とお願い 5
付属品の確認 6

準備 7

各部の名称（本体） 7
各部の名称（リモコン） 8
テレビの設定 9
設置する 9
アンテナの接続 10
各端子部などの名称 11
miniB-CAS カードの準備 11
リモコンの準備 12
電源コードをつなぐ／電源を入れる 12

チャンネルの初期設定 13

テレビを視聴する 16

基本的な使い方 16
電子番組表（EPG）を使う 18

録画機能を使う 19

番組録画（予約）機能について 19
録画用外部メモリの準備 20
番組録画に関する各機能を使う 22

テレビモード時のリモコン操作／各種設定 25

テレビモード時の本体設定 26

付加機能を使う 27

外部機器と接続する 27
外部メモリデータの再生 28
付加機能使用時のリモコン操作／各種設定 30

その他 31

故障かな？と思ったら 31
内蔵充電池について 33
製品仕様 33
アフターサービス 34
保証書 ..... 裏表紙

はじめに

本製品をご使用になる前に、以下の「安全上のご注意」「使用上のご注意とお願い」を必ずよく読み、正しくお使いください。

安全上のご注意 3
使用上のご注意とお願い 5
付属品の確認 6

安全上のご注意

この「安全上のこ注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人やほかの人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
高圧注意を表します。	禁止を表します。
行為を強制したり指示する内容を表します。	

⚠注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。
接触禁止を表します。	分解・修理・改造禁止を表します。
コンセントの扱いに注意してください。	

⚠ 警 告

- ACアダプタをコンセントから抜くときは電源コードを引っ張らずにACアダプタをつかんで抜いてください。
  濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電・けがの原因になります。
- 電源コードが損傷したりACアダプタが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認して
  コンセントから抜いてください。その際、電源コードを引っ張らず、必ずACアダプタをつかんで抜いてください。
- 雷が鳴り出したときは、本製品に触れないでください。誘導落雷により感電することがあります。
- 本製品の上に金属類、花瓶やコップなど水の入った容器を載せないでください。火災・感電の原因となります。
- 本製品の内部に金属類や燃えやすいもの、水分などが入ると、感電や火災の原因となります。
- 本製品を落としたとき、または落下物で本製品のキャビネットを破損したときは、すぐに電源を切りACアダプタを
  コンセントから抜いてください。

安全上のご注意

⚠ 警 告

本製品やACアダプタの内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。

電源コードを延長したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。火災や感電の原因になります。

通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。

裏ぶたを外さないでください。内部に電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因になります。

以下の場合は、電源を切りACアダプタを抜いてからお買上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。ご自身での修理は危険ですので、絶対になさらないでください。

- 落とすなどして機器が破損した
- 機器の中にものが入った
- 熱器具に近づけた
- 液や煙、音、または異臭がでる
- 機器を雨や湿気にさらした
- ACアダプタや電源コードが破損した
- トラブルシューティングで対応できない

⚠ 注 意

水平で安定した場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

湿気、ホコリの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

液晶パネルに衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害などの原因となることがあります。

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 本製品をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

移動させるときは、ACアダプタや外部と接続されている線などをすべて外してください。

旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は安全のためにACアダプタをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意とお願い

●デジタル放送のコピー制御について

本製品には付属の miniB-CAS カードを必ず挿入してください。デジタルテレビ放送ではコピー制御のため、B-CAS の機能を利用します。

挿入されないと、すべてのデジタルテレビ放送が映らなくなります。カードを挿入していただくことで、地上デジタル放送の各番組をお楽しみいただけます。

（NHK や無料民法放送など）

デジタル放送は鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご視聴でき、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し魅力ある番組が製作されます。（ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。）

●液晶パネルのドット欠けについて

液晶パネルには画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは液晶パネルの製造上の特性であり、故障ではありません。

●本製品の温度について

本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。また、DVDなど熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

●設置室内の温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。

●輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネル部の破損や画欠点の増加などのおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

●ゲーム機器との接続について

ガン（銃）タイプのコントローラーを使用するゲーム機器などは本製品では使用できない場合があります。詳しくは各ゲームおよびコントローラーの説明書をご覧ください。またゲーム機器の操作に対して、若干遅れて反応しているように感じられる場合があります。これは入力された信号が表示されるまでに、デジタル処理によるタイムラグが発生するためで、故障ではありません。ゲームの種類や内容によっては、画面が欠けて表示される場合があります。

●お手入れについて

お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞ってから拭き取り、その後乾拭きしてください。

＊キャビネットの変質や破損・塗料剥がれなどのおそれがありますので、以下のことをお守りください。

・ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は注意書きに従ってください。

・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。またゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長時間接触させないでください。

＊液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、以下のことをお守りください。

・パネルに硬いものや尖ったものを当てたり、強く押したり、こすったりしないでください。傷や変色の原因となります。

・パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラや変色の原因となります。

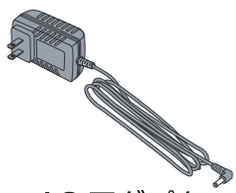
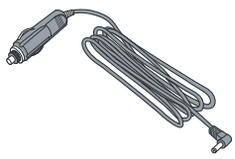
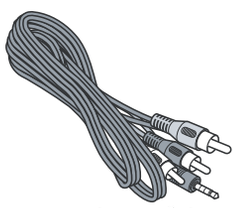
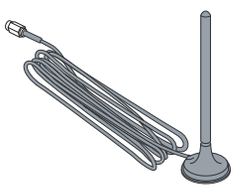
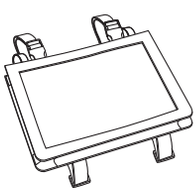
・パネルの汚れを拭き取る際は、ホコリの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷や変色の原因となります。

●本製品を破棄するときは ...

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。本製品を破棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

付属品の確認

●本製品にはテレビ本体以外に以下の付属品が同梱されています。
●万一、不足していたり破損していた場合は、ご購入された販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。
●アンテナケーブルや外部機器などを接続するためのケーブルは付属されておりません。

リモコン（動作確認用コイン電池 CR2025含む）	 ACアダプタ	 カーアダプタ
 AVケーブル	イヤホン	 簡易アンテナ
 車載バッグ	miniB-CASカード	取扱説明書 兼保証書

注意

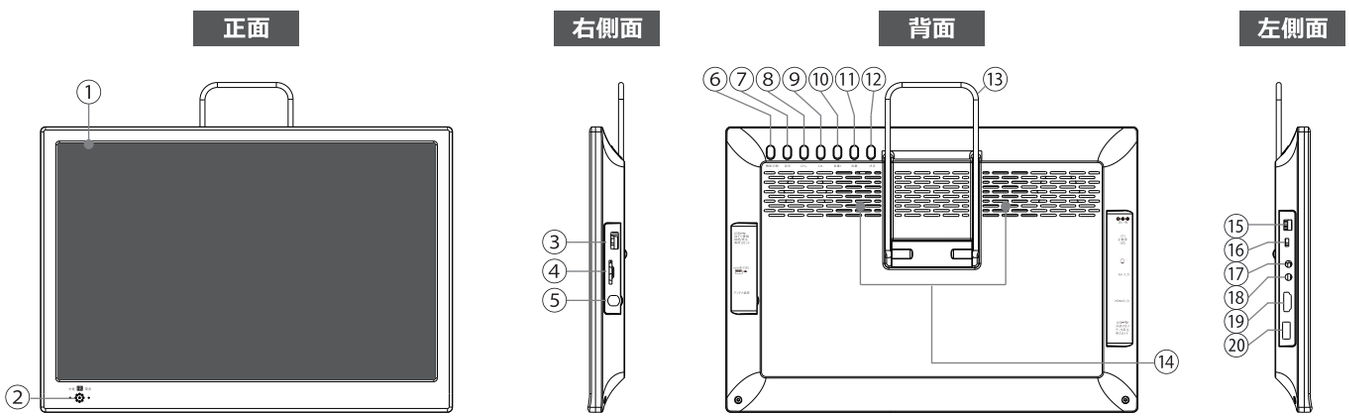
- 本製品に使用できるACアダプタは、付属の専用品のみです。市販品のACアダプタは使用しないでください。
- 本製品に付属のACアダプタを他の機器では使用しないでください。不具合や故障の原因となります。

準備

以下の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために必要なアンテナ接続方法、miniB-CAS カードの挿入方法、本製品の各部名称、主な機能、リモコンのボタンの説明などをご案内いたします。

各部の名称（本体） 7
テレビの設定 9
アンテナの接続 10
miniB-CAS カードの準備 11
電源コードをつなぐ 12
各部の名称（リモコン） 8
設置する 9
各端子部などの名称 11
リモコンの準備 12
電源を入れる 12

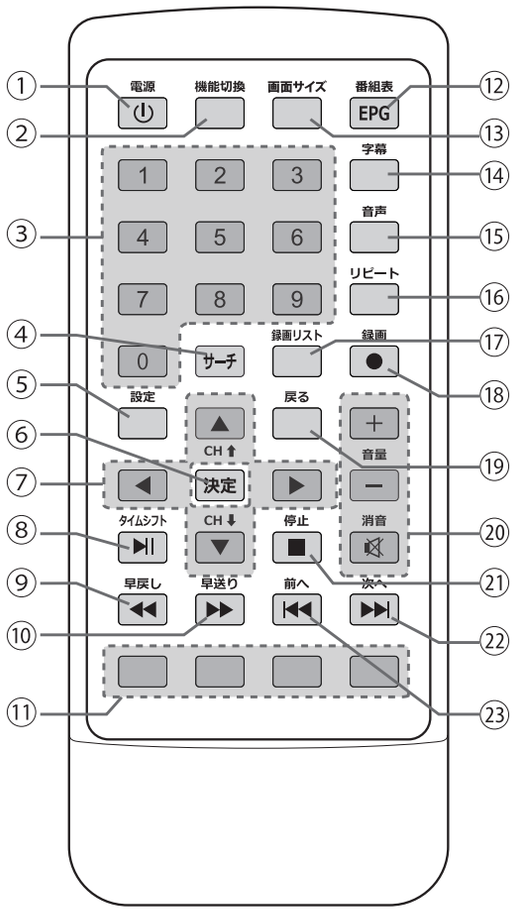
各部の名称（本体）



①液晶パネル ……映像を表示する画面です。
②リモコン受光部……リモコンで操作するときに、こちらに向けて操作します。
充電（左）／電源（右）ランプ ……充電: 充電中は赤、満充電時は緑に点灯します。
電源: 電源オン・視聴時は緑に点灯、電源オフで消灯します。
③USB端子（録画専用）……録画用HDD（ハードディスクドライブ）を接続します（録画・再生）。
④miniB-CASカードスロット ……付属のminiB-CASカードを装着します。
⑤地上デジタル放送アンテナ入力端子 ……付属の簡易アンテナ、または地上デジタル放送用アンテナと接続します。
⑥機能切換ボタン ……テレビ・AV・HDMI・USB（データ再生）を選択します。
⑦設定ボタン……設定画面を表示します。
⑧チャンネル（＋）ボタン……視聴する番組を選択します。
⑨チャンネル（－）ボタン……視聴する番組を選択します。
⑩音量（＋）ボタン……音量の調節（上げる）をおこないます。
⑪音量（－）ボタン……音量の調節（下げる）をおこないます。
⑫決定ボタン……設定画面などで選択項目を確定します。
⑬スタンド……本機を立て掛けて設置する際に使用します。
⑭スピーカー……音声を出力します。
⑮電源入力端子……ACアダプタまたはカーアダプタを接続します。
⑯主電源ボタン ……主電源のオン・オフをおこないます。
⑰ヘッドホン出力端子……音声をヘッドホンで視聴する際に使用します。
⑱mini AV入力端子 ……外部機器からRCA入力の際に使用します。
⑲HDMI入力端子 ……外部機器からHDMI入力するときに接続します。
⑳USB端子（データ再生専用）……USBメモリに収録された音楽や動画のデータを視聴する際に使用します。

各部の名称（リモコン）

※ご注意：本書に掲載している画面・イラストなどは機能等を説明する為のものであり、実際の表示とは多少異なる場合があります。



①電源 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 電源のオン・オフをおこないます。
②機能切換 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 入力を切り換えます（テレビ・AV・HDMI・USB）。
③数字 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ チャンネル選局や設定時の数字入力に使用します。
④サーチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 受信可能な放送局を登録しなおします。
⑤設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 設定画面（メインメニュー）を表示します。
⑥決定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 選択した項目を決定・実行します。
⑦方向（▲▼◀▶） ・・・・・・・・・ 設定や番組表のカーソル移動をおこないます。
⑧タイムシフト ▶II ・・・・・・・・・・ テレビ番組視聴中にタイムシフト機能を使用します。
録画やメモリデータの再生／一時停止をおこないます。
⑨早戻し◀◀・・・・・・・・・・・・・・・・ 録画やメモリデータの早戻しをおこないます。
⑩早送り▶▶・・・・・・・・・・・・・・・・ 録画やメモリデータの早送りをおこないます。
⑪カラー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 番組表使用時や録画データ再生時に使用します。
⑫番組表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 視聴チャンネルの番組表を表示します。
⑬画面サイズ・・・・・・・・・・・・・・・・ 画面サイズを切り換えます（自動・フル・16:9・4:3）。
⑭字幕 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 字幕放送視聴時に字幕を表示します。
⑮音声 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 音声設定をおこないます（主・副・主＋副）。
⑯リピート ・・・・・・・・・・・・・・・・・ メモリデータのリピート設定をおこないます。
⑰録画リスト ・・・・・・・・・・・・・・・・ 録画したデータをリスト表示します。
⑱録画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 視聴中のチャンネルをダイレクトに録画します。
⑲戻る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 操作項目を戻る際に使用します。
⑳音量（＋・ー・消音） ・・・・・・・ 音量を調整・消音するときに使用します。
㉑停止 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 再生中の録画やメモリデータを停止します。
㉒次へ ▶▶I・・・・・・・・・・・・・・・・・ 再生中のデータの1つ後のデータに移動します。
㉓前へ I◀◀・・・・・・・・・・・・・・・・・ 再生中のデータの1つ前のデータに移動します。

テレビの設定

●テレビの設定手順

安全に品質を維持した状態で本製品をご利用いただくために、下記の設定・接続が必要となります。

1．設置する
↓
2．アンテナを接続する
↓
3　外部機器と接続する（※ある場合のみ）
↓
4．miniB-CAS カードを差し込む
→
5．リモコンの準備をする
↓
6．ACアダプタまたはモバイルバッテリーを接続する
↓
7．電源を入れる
↓
8．チャンネルを設定する

設置する

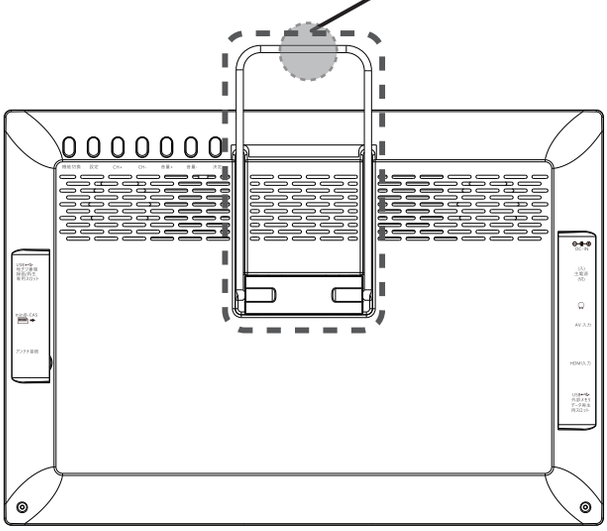
安全に本製品をご利用いただくために下記注意事項を守って設置してください。

⚠ 注 意

- **極端に温度や湿度が高いまたは低い場所に設置しないでください。**
- **本製品を車載する場合は付属の車載用バッグを使用してください。**
- **運転中の本製品の操作や視聴は、 事故などの原因となる場合があり大変危険です。**
  絶対におこなわないでください。

設置用スタンドは本体背面にあります。

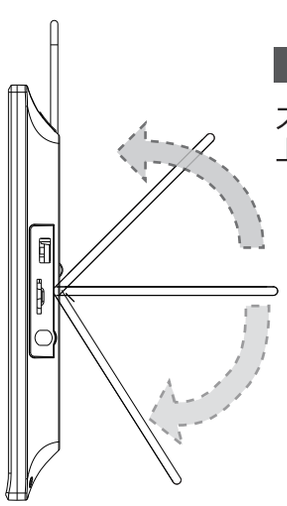
背面



○部分からスタンドアームを引き出します。
（据置き設置の場合は角度を調整します）
（壁掛け設置の場合は上まで引き上げます）

横から見た場合 …

スタンドアームは
上下に約160°動きます



アンテナの接続

本製品では地上デジタル放送が受信できます。本製品を安全に品質を維持した状態でご利用いただくためには、下記の確認と設定が必要です。

●アンテナについてのご注意

UHF アンテナ（地上デジタル用）が設置されているかをご確認ください。UHF アンテナが設置されていない場合、地上デジタル放送はご覧になれません。UHF アンテナのご購入・設置については、電気店や専門の設置業者にご相談ください。

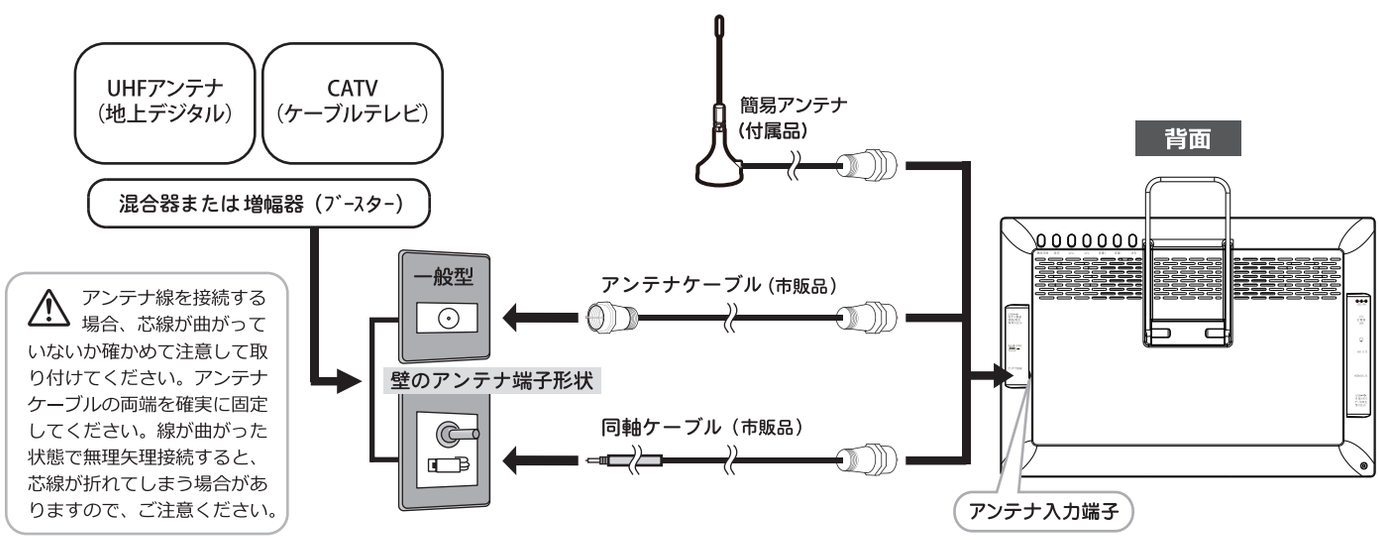
※設置されたアンテナの受信レベルが弱い（低下）場合、画面にモザイク状のノイズが入ったり、画面が表示されずに音声のみになるなどの症状が出る場合があります。この場合、アンテナの取換えや設置位置の調整・ブースター（電波増幅器）の増設などが必要になる場合があります。

※集合住宅などでブースターなどを増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者とご相談ください。

⚠ 注 意 **【CATV（ケーブルテレビ）で地上デジタル放送をご視聴されるお客様へ】**

各ケーブルテレビ会社によって伝送方式や接続方法が異なる場合があります。
詳しくは各ケーブルテレビ会社にお問合せください。

●接続方法



⚠ 注 意 室内側(壁)のアンテナ端子形状の確認と接続

●室内側（壁）のアンテナ端子形状の確認

本機を設置する環境により壁側アンテナ端子部の形状が異なりますので、接続時に使用するアンテナケーブル（市販品）の端子形状にご注意ください。
（本体側の端子部形状は F 型コネクターです）

●室内側（壁）のアンテナ端子と本機アンテナ端子との接続

上図を参照に室内（壁）のアンテナ端子とアンテナケーブル（市販品）を接続してから、本機アンテナ端子部にしっかり接続してください。

各端子部などの名称

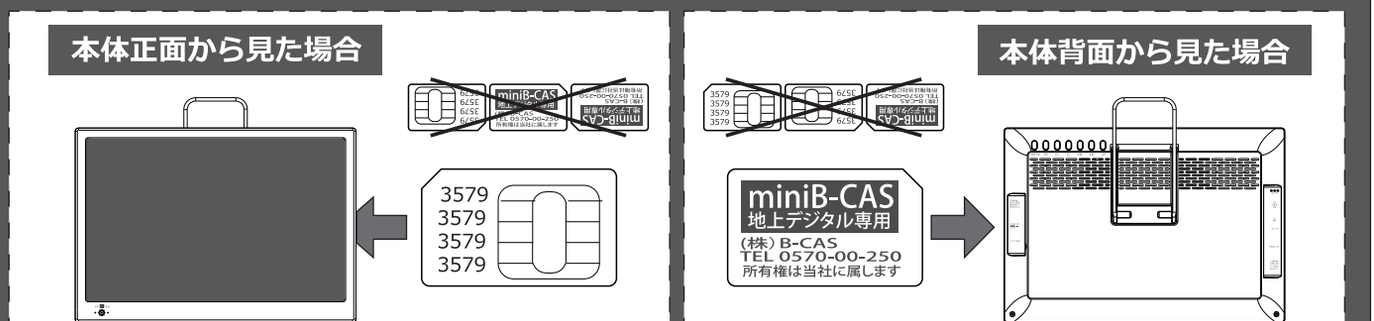
本体の左右側面にあるスイッチや端子の名称です。アンテナや外部機器と接続する際は各機器に対応した各端子と接続してください。

① 電源入力端子
② 主電源ボタン
③ ヘッドホン出力端子
④ mini AV入力端子
⑤ HDMI 入力端子
⑥ USB端子(データ再生専用)
⑦ USB端子(録画専用)
⑧ miniB-CAS カード挿入口
⑨ アンテナ入力端子

miniB-CAS カードの準備

地上デジタル放送を視聴する場合、miniB-CAS カードの常時挿入が必須です。下図を参照のうえ、カードの向きに注意しながら正しく挿入してください。

●miniB-CAS カードの正しい挿入方向：
カードの「角欠け部分」を上に向け、「角欠け部分」から挿入してください



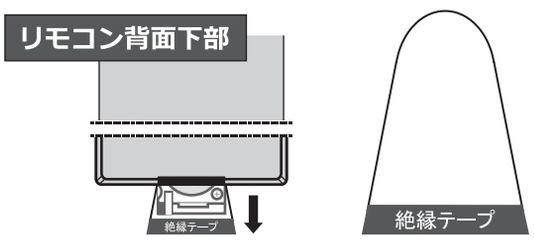
●挿入の方法
・miniB-CAS カードの挿入方向を確認し、「カチッ」と音がなるまでまっすぐに押し込んでください。
・miniB-CAS カードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐに引き出してください。
（カードの挿入／取出しをするときは、急に指を離さないでください）

⚠ 注 意
●カードの抜き差しは本機を電源コンセントからを外した状態でおこなってください。
●miniB-CAS カードスロットにはカード以外の物を挿入しないでください。
●miniB-CAS カードの IC（集積回路）部には手を触れないでください。

※miniB-CAS カードの取扱いにつきまして、詳しくは miniB-CAS カードの封入用紙をご覧ください。
※miniB-CAS カードの故障、破損、紛失などについてのお問合せ先：
㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ／ B-CAS カスタマーセンター　　TEL：0570-000-250

リモコンの準備

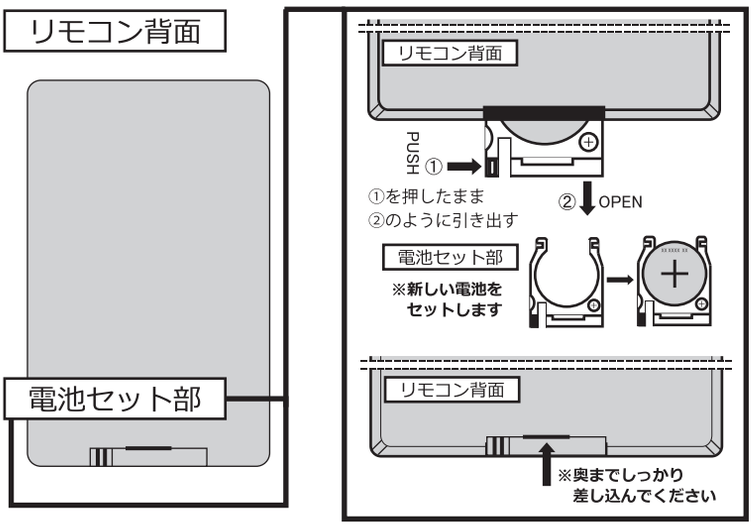
リモコンを使用可能な状態にします。以下をご参照ください。



※はじめてご利用される際は図のような絶縁テープが電池セット部に差し込まれています。
電池セット部を引き出して絶縁テープを外してからご使用ください。

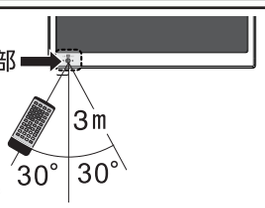
■電池交換の方法

1. 電池セット部分のツメを右に押したまま電池セット部を引き出す。
2. 古い電池を取り出して、新しい電池に交換する。（+/−の向き注意）
3. 電池セット部分を奥まで正確に差し込む。



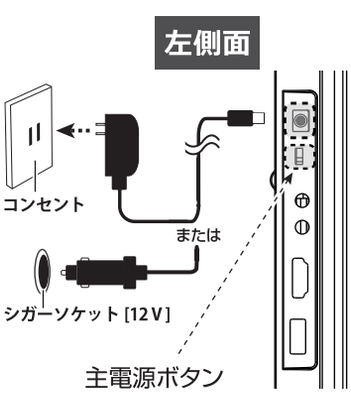
※本機リモコン用の電池は「CR2025」型です。別途電池をご用意する際は型番をご確認の上お買い求めください。
※リモコンに初期セットされている電池はテスト用のものですので、別売新品の電池と早めに交換してください。
※電池交換の作業をおこなう際は、電池セット部のツメ折れや傷などにご注意ください。

■リモコンの基本的な使い方



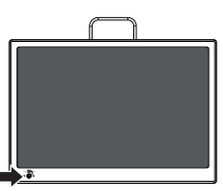
- リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本製品のリモコン対応範囲は距離 3m 以内／左右 30°以内です。(右図参照)
- リモコンと本体リモコン受光部の間に物などを置かないようにご注意ください。

電源コードをつなぐ／電源を入れる



本体と付属のACアダプタをコンセントに、または付属のカーアダプタをシガーソケットに接続すると、本体に通電されると同時に内蔵バッテリーに充電されます（☞P33ご参照）。

充電ランプ(左)は、充電中は赤、満充電時は緑に点灯します。
電源ランプ(右)は電源オン･視聴時は緑、電源オフで消灯します。



注意
- 本体起動後、画面が表示されるまで数秒かかります。
- 長期間ご使用にならない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

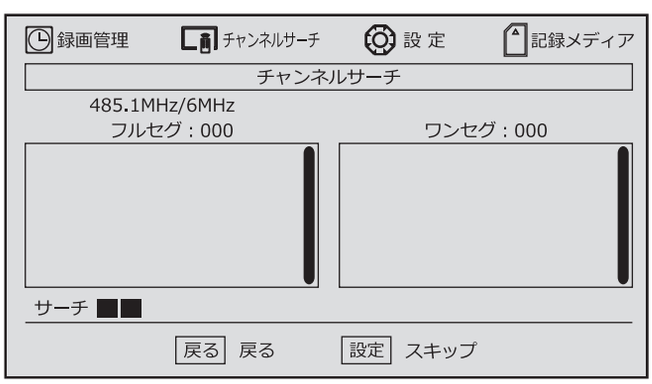
チャンネルの初期設定

本機をご購入後にはじめて起動させると、画面に＜インストールガイド表示＞または＜チャンネルサーチの開始＞となります。以下を参照し、本機へのチャンネルの登録を完了させてください。

●チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。
①電源プラグが正しく接続されていること　②アンテナ線が正しく接続されていること
③miniB-CAS カードが正しく挿入されていること

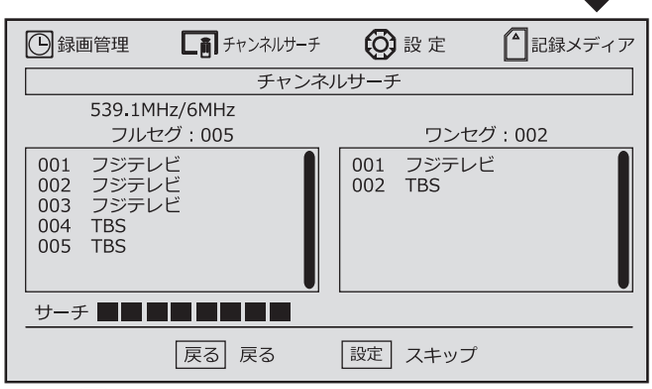
本製品に同梱されている外付けアンテナは**屋外用**の簡易アンテナです。チャンネル受信局数の登録漏れなどを防ぐため、とくに初回時のチャンネル登録設定の作業をおこなう際は室内用アンテナと接続のうえ、設定・登録してください。(※本機とアンテナとの接続方法は P10 をご参照ください)

＊電源を入れるとシステム起動中 (左図) の表示後、＜インストールガイドの表示＞または＜チャンネル自動検索の開始＞となります。（※機種により異なる）
＜インストールガイドの表示＞の場合：リモコン「決定」を押してください。
＜チャンネル自動検索の開始＞の場合：スキャン終了までお待ちください。

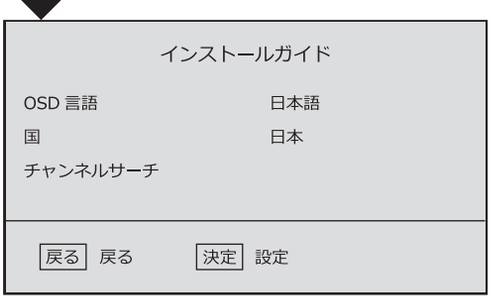


チャンネル受信成功／登録中

※本機と接続したアンテナが電波を受信すると、下図のようにフルセグ／ワンセグの項目にチャンネルが追加登録されていきます。



番組登録が失敗した場合



※
設定電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、インストールガイドに戻ります。以下をご確認のうえ、リモコンの決定ボタンを押して再度チャンネルスキャンをおこなってください。

＊本機に正しく B-CAS カードが挿入されてますか？
＊本機と接続しているアンテナが地デジ放送の電波を受信できていますか？
(アンテナの設置位置などをご確認ください)

本機に番組が登録された場合

※
チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。
電波の受信レベルに応じてフルセグ放送およびワンセグ放送のいずれかが表示されます。

チャンネルの初期設定（続き）

＜設定しても放送が正しく映らない場合＞

初期設定を終えるとチャンネルスキャンで登録されたテレビ番組が表示されます。
「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下を参照にご確認ください。

デジタル放送の受信方法の確認　　＜放送チャンネルが登録されない ...＞

■屋外アンテナの場合：

アンテナが地上デジタル放送受信対応の UHF アンテナ、または VHF/UHF 混合アンテナであるかどうかをご確認ください。
（詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。）

■ケーブルテレビの場合：

地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送（CATV）やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルー方式での地デジ放送受信に対応しているか、ご契約の CATV 会社や共聴システムの管理者にご確認ください。

■本製品同梱の簡易アンテナの場合：

付属の外付けアンテナは、強電界地域の屋外での用途向けに作られた簡易的なサービス品です。ブースター（電波増幅装置）機能などは付いておりませんので、中／弱電界地域や屋内などで使用した場合、正しく電波を受信できない場合があります。このような場合、市販品などの室内用アンテナやブースター内蔵アンテナなどを別途ご用意の上、ご利用ください。
（詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。）

地デジ受信方法の確認

本機にはフルセグ放送とワンセグ放送を自動的に切り換える機能があります。特にフルセグ放送の受信レベルが低い場所に設置した場合、フルセグ受信とワンセグ受信に頻繁に切り換わり、その都度画面がフリーズなどを起こす場合があります。このような場合は設定メニューから受信切替をおこない、ワンセグ受信に固定することで解消されます。

＊操作方法：　リモコンの「設定」でメニューを表示　→　「◀ ▶」で「設定」に移動
→　「▲▼」で受信切替に移動　→　「◀ ▶」でワンセグを選択
→　「設定」または「戻る」で番組視聴に戻る　→　変更した設定が反映されます

⚠ ワンセグ放送は小型携帯端末 (5inch 前後) 向けの伝送データ量の少ない放送波の為、本機でワンセグ放送を視聴した場合、フルセグ放送と比べると画質が粗くなります。故障ではございませんので予めご了承ください。

チャンネルの初期設定（続き）

⚠ 注 意　●アンテナの受信が悪いと「テレビ視聴ができない」「画面が乱れる」「音声しか出ない」など様々な症状が起きる場合があります。安定して地デジ番組をお楽しみいただくためには、十分な受信レベルを確保できる場所へアンテナの設置・方向の調整をおこなってください。

※屋外アンテナの設置位置や方向などの調整は、高所での作業となるため大変危険です。アンテナ設置業者や電気店などへご相談いただくことをおすすめします。

※アンテナが正しく接続されていない場合、受信／視聴はできません。
※建造物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、など電波の受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。
※デジタル放送では受信レベルが下がると、映像が止まる、ブロックノイズが出る、音声しか出ない、音声が途切れる、などの症状が起こる場合があります。また、移動中に受信している場合は、静止中の受信に比べ受信範囲が狭くなるため、正しく受信出来ない場合があります。
※次の放送は受信／視聴できません。<地上アナログ放送> <BS/CS 放送> <データ放送> <緊急警報放送>
※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。
※その他の症状が起きた場合は、本書 P31～「故障かな?と思ったら」をご参照ください。

テレビを視聴する

以下の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために本機の基本的な使い方やデジタル放送の機能などについての説明などをご案内いたします。

基本的な使い方 ..... 16　　電子番組ガイド（EPG）を使う 18

基本的な使い方

本体の主電源を入れる／切る

■本体左側面の「主電源スイッチ」で ON ／ OFF に切り換えます。

リモコンで電源を入れる／切る（待機状態）

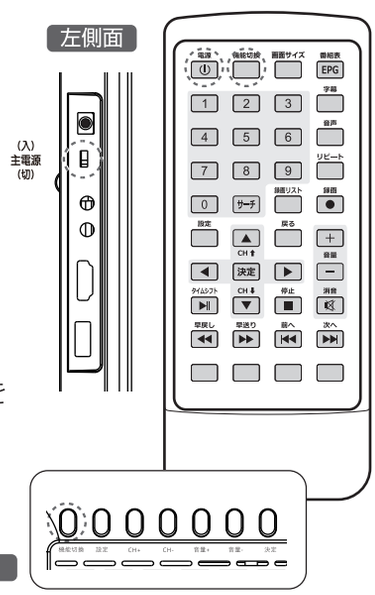
■本体の主電源を ON にした状態でリモコン「電源」ボタンを押します。

※電源ランプ表示：電源 ON 状態…電源ランプ <緑>
電源 OFF（または待機）状態…電源ランプ <消灯>

地デジ放送を選ぶ

■外部機器から地デジ放送に切り換えるときは、リモコンまたは本体の「機能切換」を押し入力ソース「DTV」を選択後、リモコンの「決定」ボタンを押します。

※「機能切換」：<DTV> ▲▼ <AV> ▲▼ <HDMI> ▲▼ <USB>



視聴チャンネルを選局する

■ 番組視聴中にリモコンの【決定】ボタンを押すと、チャンネルサーチ時に登録された「主番号」*の順に、チャンネルリストが表示されます。

＊本書では3桁のチャンネル番号の真ん中を「主番号」と呼びます（例: 011→「1」、081→「8」など）

■ リモコンの数字ボタンで主番号を直接押してください（切り換わりに2秒程度かかります）。

■ 主番号で選局できない番組は、【▲CH+】【▼CH−】で切り換えることができます。

（ご注意） チャンネルサーチで本機に登録されていない放送は視聴できません。登録漏れなどがあった場合は本書P30「アンテナの接続」をご確認のうえ、正しく接続してから再度チャンネルサーチをおこなってください。

※チャンネルリスト表示時に「◀」「▶」でフルセグ／ワンセグ放送の選択ができます。

音量を調節する／消す（消音機能）

■調節する：リモコンまたは本体の「音量 +」「音量ー」ボタンで音量を調節します。

■消音する：リモコンの「消音」ボタンを押すと消音状態に切り換わります。
消音状態で同ボタンを押すと消音状態が解除されて音が出ます。

お知らせ

リモコンや本体のボタン操作などを立て続けにおこなうと、内部システム起動用の CPU やメモリーが誤作動したりフリーズする場合があります。
この場合は一度、本体の「主電源スイッチ」で本体電源を OFF にして操作メモリーをリセットすることで改善する場合があります。
（改善しない場合は、<設定> メニューから <工場出荷時設定> に移動後、本体システムを工場出荷状態に戻してください）

基本的な使い方（続き）

字幕設定の切り換え／音声設定の切り換え

■字幕設定の切り換え：リモコンの「字幕」ボタンを押すと字幕オン／字幕オフに切り換わります。
■音声設定の切り換え：リモコンの「音声」ボタンを押すと音声切換メニューが表示されます。
「▲▼◀▶」で音声／主音声／副音声を選択後、「決定」を押して選択を確定します。
選択確定後に「戻る」を押すと番組視聴画面に戻ります。
※字幕設定／音声設定は視聴中の番組により選択や操作ができないことや、設定が反映されないことがあります。

情報表示

■リモコンまたは本体のボタンでチャンネルを変更すると、現在視聴している番組の簡易情報を表示します。
※簡易情報はしばらくすると消えます。

電子番組ガイド（EPG）を使う

■テレビ番組を視聴中にリモコンの「EPG」ボタンを押すと現在視聴している放送局の番組ガイドが表示されます。
※番組ガイドに関する詳細は P18「電子番組ガイド（EPG）を使う」をご参照ください。

「録画」に関する機能を使用する

■市販の USB メモリなどを別途ご用意のうえ、録画専用スロットに正しく挿入することで、録画機能を使用することができます。
※録画・予約に関する詳細は P19 ～「録画機能を使う」をご参照ください。

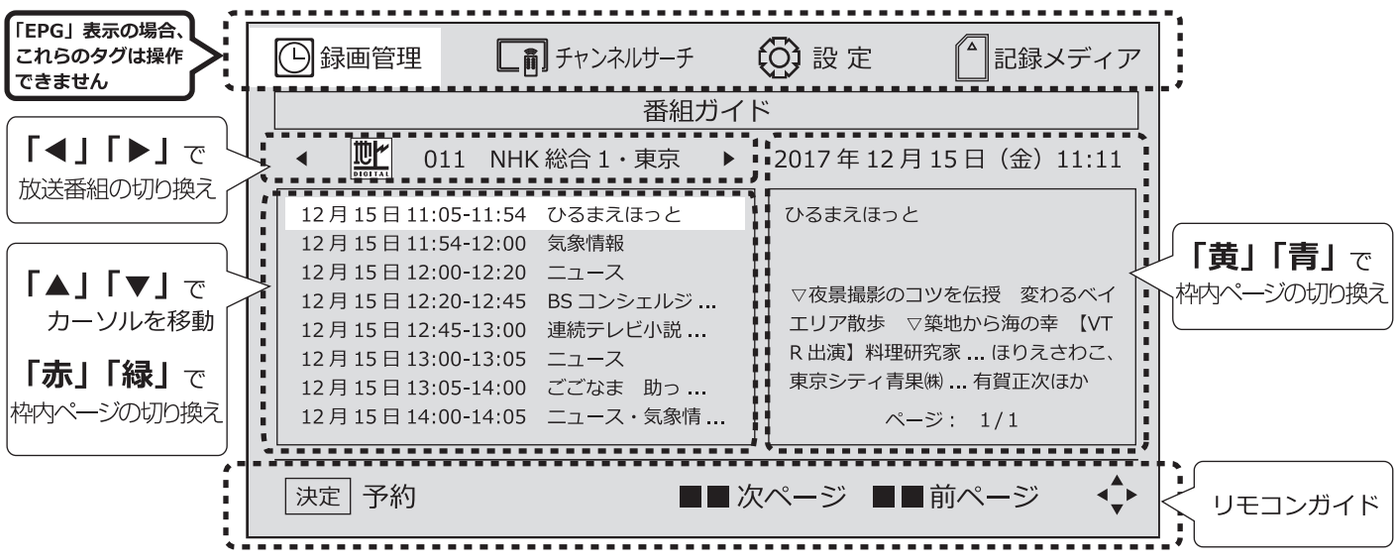
本体設定メニューを表示する

■テレビ番組を視聴中にリモコンの「設定」ボタンを押すとテレビ用設定メニューが表示されます。
メニュー表示後、「▲」「▼」「◀」「▶」「決定」「戻る」ボタンを主に使用して様々な設定をおこないます。
※設定メニューに関する詳細は P25 ～「テレビモード時のリモコン操作／各種設定」をご参照ください。

電子番組ガイド（EPG）を使う

番組ガイド（EPG）の見方

■テレビ番組を視聴中にリモコンの「EPG」ボタンを押すと現在視聴している放送局の番組ガイドが表示されます。



●番組ガイド表示時のリモコン操作：
*[◀][▶]：視聴 (表示) チャンネルの切り換え　*[▲][▼]：画面左側のカーソル移動
*[決定]：カーソルで選択した番組の録画を予約　*[赤][緑]：画面左側のページを切り換え
*[黄][青]：カーソルで選択した番組の情報ページ（画面右側）を切り換え
*[戻る]：前の操作に戻る

⚠ 注 意
※各放送番組の番組表を取得 / 表示できるまでは、時間がかかる場合があります。
（ご購入後すぐの起動時や再スキャンした後の番組表取得は、特に時間がかかる場合があります。）
※番組の中止 / 変更 / 延長などによって、実際の放送内容が番組表とは異なる場合があります。

番組ガイドから録画予約する

①「EPG」を押して番組ガイドを表示します。
②「◀」「▶」で録画したいチャンネルに切り換えます。
③「▲」「▼」「赤」「緑」で録画したい番組にカーソルを合わせます。
④「決定」を押すと右図のような画面に切り換わります。
⑤ 各タグが録画したい事項と一致しているかを確認してから「決定」を押すと録画予約が設定されます。
※録画用スロットに USB メモリが挿入されていない場合、＜予約無効＞と表示
（予約リストには追加されますが、予約時間になると「ディスクが検出されませんでした!」と表示され、録画することはできません）
※現在視聴中の番組を予約しようとすると＜予約無効＞と表示
⑥ 予約が設定されると予約リストが表示されます。
※予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」を押します。
※番組ガイドに戻る場合は「戻る」を押します。

⚠ 注 意
※録画機能をご利用する際は、市販の USB メモリが必要です。別途ご用意ください。
※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などはおこなわれません。
このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択のうえ、手動で編集をおこなってください。
※本機で録画したデータはほかの機器では視聴再生できません。

※録画機能に関する詳細は P19 ～「録画機能を使う」をご参照ください。

録画機能を使う

本機に搭載されている地デジ録画機能についての説明などをご案内いたします。

番組録画（予約）機能について..... 19
番組録画に関する各機能を使う..... 22
録画用外部メモリの準備 20

番組録画（予約）機能について

録画機能をご利用いただく前に、以下をよくお読みになり正しくご理解のうえ、ご利用ください。

■本機は<シングルチューナー>搭載モデルです。裏番組録画機能（視聴中の番組以外の番組を録画する機能）はありません。
■本機には録画用ディスク（メモリ）は内蔵されておりません。録画機能をご利用になる場合は、市販品の USB メモリなどを別途ご用意ください。（地デジ録画用スロット：USB メモリ：容量 256GB まで動作確認済／外付け HDD：1TB まで動作確認済）
■本機搭載の USB スロットで読込み可能なファイルシステム（ディスク形式）は【FAT32 形式】にフォーマットされたディスクの読込みが可能です。exFAT 形式などには対応しておりません。とくに大容量のメモリや HDD をご使用される場合はファイルシステム形式をご確認いただき、本機非対応形式の場合はパソコンなどで形式変更してからご使用ください。
■本機に録画用として装着する USB メモリなどは事前に試し録画をおこない、正常に動作するかお確かめください。
■本機で録画したデータは MTS ファイル（拡張子 .mts）として保存されます。
■録画機能は入力ソースが「TV（テレビモード）」でのみ利用可能です。録画機能を利用する際は入力ソースを外部入力に変更しないようにご注意ください。特に録画の予約を設定している場合、外部機器を利用中に録画予約を設定した時刻がきても、入力ソースは自動変更されないため、録画機能は実行できません。
■録画中に入力ソースを外部機器入力に切り換えると、システムが切り換わるため、録画が途中で強制終了します。
■録画中は、録画中のチャンネル以外の番組への切り換えなどの操作はできません。
■何らかの理由（主電源が切れた、電波が途切れたなど）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
■番組ガイドは約 8 日後まで取得できます。番組ガイドで表示できない先の日付を予約する場合は指定録画で日付指定をしてください。
■同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
■本機で録画したデータはその他の再生機器では再生できません。また本機で録画したデータは本機でのみご視聴ください。
■コピー禁止の番組や、外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを記録（録画）することはできません。本機で受信したテレビ放送の番組のみ録画が可能です。
■著作権保護のため、本機で録画したデータの移動やコピーは絶対におこなわないでください。
■故障などの理由で本機を修理や交換した場合、以前に記録した録画データは視聴できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
■本機で録画した録画データは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。録画データを個人または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
・録画した番組を自分のホームページや SNS などに載せる　・録画した番組をメールなどで他人へ送る
・録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す
■著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので、自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害などに関して、弊社は一切の責任を負いません。

⚠ 注意 ※録画機能をご利用になる場合、録画用として別途市販などの USB メモリや HDD が必要です。
録画用メモリが正しく装着されていない場合、録画機能は利用できません。

⚠ 注意 ※外部メディア（USB メモリや HDD など）はメーカーや型式によっては読み込まない場合があります。
この場合、他メーカーや型式のメディアで読込み可能かをお確かめください。
※外部メディアについての作動保証およびサポートはおこなっておりません。あらかじめご了承ください。

※録画用メモリについての詳細は、P20 ～「録画用外部メモリの準備」をご参照ください。

録画用外部メモリの準備

録画機能を使用する場合、市販のUSBメモリや外付けUSBハードディスクドライブ(HDD)が必要です。
量販店や電気店などで別途ご購入のうえ、ご用意ください。

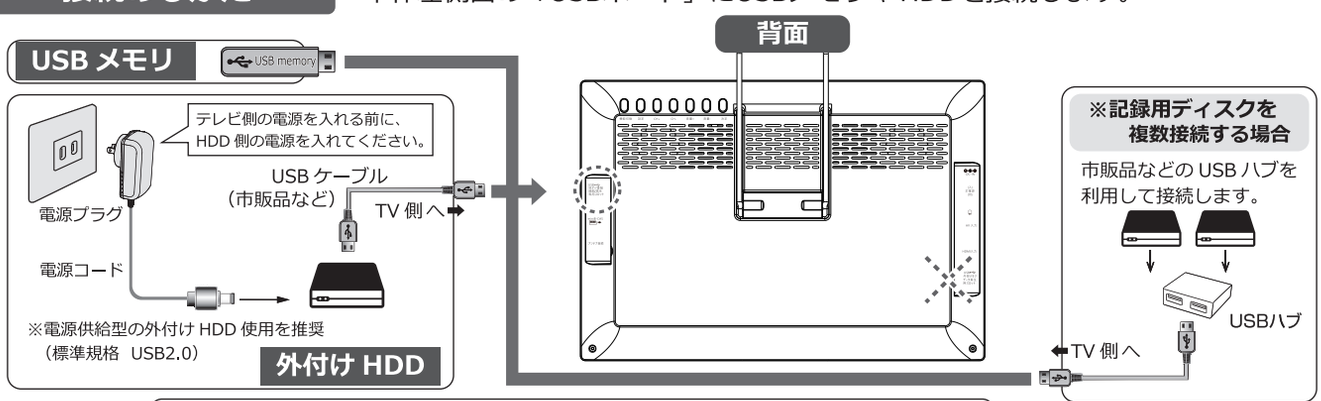
●別途必要なもの：USB メモリ やHDD などのデータ記憶装置
※外付けHDDは以下のものを推奨いたします
●電源供給型　●標準規格　USB2.0　● 容量：1TBまで　● 録画専用

＜大容量メモリ(32GB 以上）をご利用される場合＞

■本機の USB スロットで認識可能なファイルシステムは【FAT32 形式】にフォーマットされたディスクの読込みが可能です。大容量タイプのメモリ や HDD の場合、購入初期時のファイルシステムが exFAT 形式や NTFS 形式であることが多いため、ディスク購入後すぐに本機と接続しても正常に認識しない場合などがあります。この場合、パソコンなどで購入されたディスクのファイルシステムを FAT32 形式にフォーマットしてから、本機と接続してください。（HDDのフォーマットなどについては、各HDDのメーカーにお問合せください）

接続のしかた

本体左側面の「USBポート」にUSBメモリ やHDDを接続します。

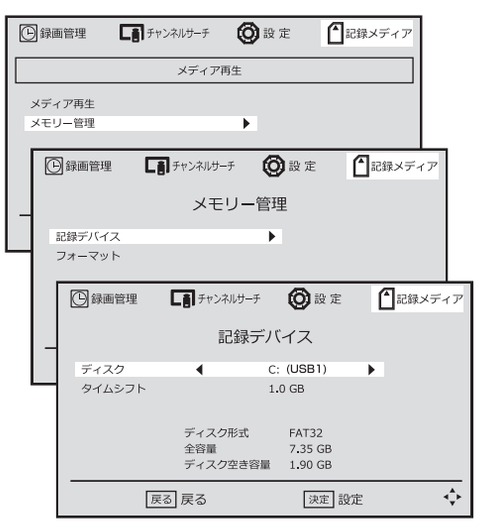


お知らせ
- ●USB ハブを使用することで、同時に 2 台までのディスクの接続が可能です。
- ●外付けHDDをフォーマットするときは、必ずテレビと 1 対 1 で接続してください。
- ●本機に接続してご使用になるHDDは、容量が1TBまでの製品を推奨しています。

⚠ 注 意

※録画用スロットに正しく装着してください。
（データ再生用スロットに装着しても地デジ録画機能は利用できません）
※パソコンなどその他の機器で使用していたUSB メモリ等 を本機で使用した場合、保存していたデータなどは消去される場合があります。
※本機で録画保存したデータは他の機器で視聴・再生しないでください。

メディアの状態を確認する



下図のように、装着した録画用メモリの状態を確認できます。

① リモコンの「設定」を押して設定メニューを表示します。
②「◀」「▶」で【記録メディア】にカーソルを合わせます。
③「▲」「▼」で【メモリー管理】にカーソルを合わせて「決定」を押します。
↓(メモリー管理画面に移行)
④「▲」「▼」でカーソルを【記録デバイス】に合わせて「決定」を押します。
⑤ 記録デバイスの状態が表示されます。
⑥「▲」「▼」「◀」「▶」で各カーソル移動／
「決定」で各項目を設定／「戻る」で前の画面に戻ります。

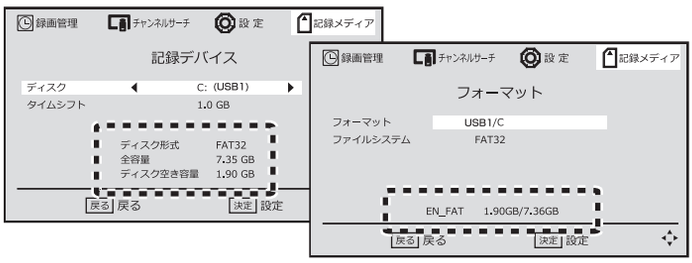
・タイムシフト：タイムシフト機能に割り当てる容量を設定します。
※タイムシフト機能についてはP24「タイムシフト機能を使う(便利機能)」をご参照ください。

＊「正しく 録画用メモリを装着していない」「本機で 認識できていない」場合、「メモリーデバイスがありません」と表示されます

録画用外部メモリの準備

メディアの状態を確認する（続き）

装着した録画用メモリが正しく認識されない場合、以下の点をご確認ください。



① メモリー管理画面から、
【記録デバイス】または【フォーマット】を選択し、「決定」を押します。

② [　　] 枠内の情報を確認してください。

※点線枠内に現在装着中の録画用ディスクの状態が表示されます。

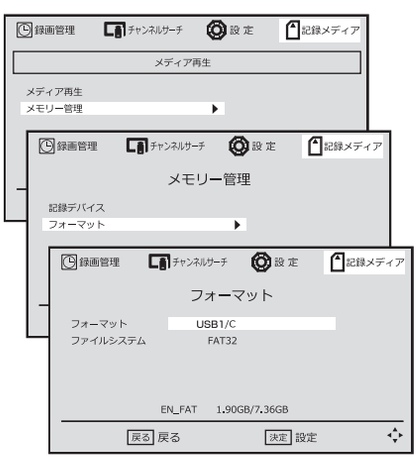
＊本機で読込み可能な形式のディスクの場合、<ディスク形式> <ディスク全容量> <ディスク空き容量>が正しく表示されます。
（※FAT16 形式の場合、ディスク形式などは表示されますが、本機では非対応形式の為、使用することはできません。）
（※exFAT 形式の場合、<ディスク形式：NTFS> <ディスク全容量：0MB> <ディスク空き容量：0MB>などと表示され正しく認識できず使用できません。）

⚠ 注意

■ファイルシステム形式にご注意ください。（非対応形式のディスクは読み込みできません）
■地デジ録画機能を使用する際はディスク空き容量にご注意ください。
※ディスク空き容量が少ない場合、録画の予約ができません。また予約を設定して予約時間になった状態でディスク空き容量が足りない場合、予約はキャンセルされて録画されません。
※ディスク空き容量が10MB以下になると全ての録画機能が使用できなくなります。この場合は「新しい録画用メモリを別途ご用意いただく」「装着している録画用メモリを再度フォーマットする」などしてディスクの空き容量を確保してください。（*フォーマットを実行すると、録画用メモリ内のデータは全て消去されます）

録画用メモリをフォーマットする

下図のように、録画用メモリを FAT32 形式にフォーマットします。



① リモコンの「設定」を押して設定メニューを表示します。
②「◀」「▶」で【 記録メディア】にカーソルを合わせます。
③「▲」「▼」で【メモリー管理 】にカーソルを合わせて「決定」を押します。
↓（メモリー管理画面に移行）
④「▲」「▼」でカーソルを【フォーマット】に合わせて「決定」を押します。
↓（フォーマット画面に移行）
⑤「決定」を押すと最終確認が表示されます。
⑥「決定」で初期化／「戻る」で初期化をキャンセルします。

＊「正しく録画用メモリーを装着していない」「本機で認識できていない」場合、「メモリーデバイスがありません」などのエラーが表示されます

⚠ 注意

※フォーマットを実行すると、録画用メモリ内に保存していたデータは全て消去されます。録画用メモリ内に必要なデータがある場合、フォーマット実行前にパソコンやその他のメモリなどに移動･保管してください。
（データ消去などによる損害などについて弊社は一切その責任を負いません）
※HDD（ハードディスクドライブ）の接続ができなかった場合、お手持ちのパソコンでHDDをフォーマットしてください。
①パソコンにHDDを接続、画面から該当のHDDを右クリック、「フォーマット」→「FAT32」を選択して実行します。
②フォーマットが完了したらパソコンから外して、本機に接続します（P20「接続のしかた」をご参照）。

容量と録画時間

本機で地デジ番組を録画する場合の大まかな目安です。

フルセグ 録画	＊番組データ 1 秒あたり約 1.7MB の場合　≒　容量 1GB あたり約 10 分間録画可
	空き容量 15GB の録画用メモリを使用すると、合計約 2.5 時間分の番組を録画可
ワンセグ 録画	＊番組データ 1 秒あたり約 0.04MB の場合　≒　容量 1GB あたり約 7 時間録画可
	空き容量 15GB の録画用メモリを使用すると、合計約 100 時間（4 日分）の録画可

※大まかな目安です。放送番組のデータ量などにより変化しますのであらかじめご了承ください。

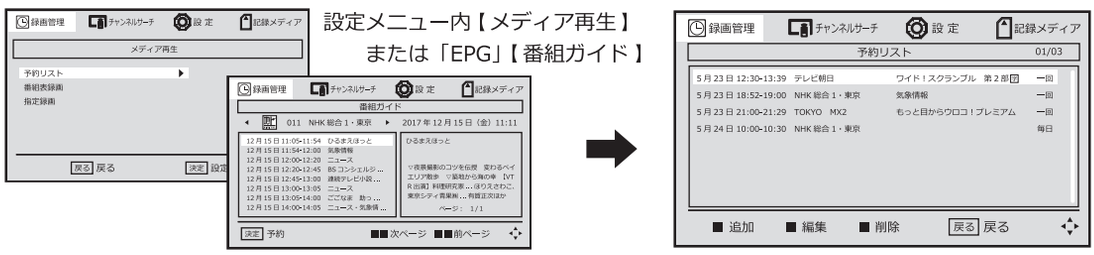
番組録画に関する各機能を使う

録画設定の優先順位について

録画機能の作動優先順位は以下の通りです。

「予約録画」＞「ダイレクト録画」（タイムシフト機能含む）

＊「予約録画」とは番組表録画および指定録画で録画の予約を設定したものを指します。
録画予約を設定した日時や番組は【 予約リスト】から確認や編集ができます。



設定メニュー内【メディア再生】
または「EPG」【番組ガイド】

＊録画予約を設定すると予約の設定が最優先設定となります。予約を設定した日時になると、「ダイレクト録画」で録画中やタイムシフト機能を利用中でも、自動で予約設定したチャンネルに切り換わり録画が始まります。

⚠ 注 意 ※録画用メモリの容量が足りない場合は録画されませんのでご注意ください。

視聴中の番組を録画する（ダイレクト録画）

現在視聴中のテレビ番組を録画する方法です。

① 番組視聴中にリモコンの「録画」ボタンを押します。
② 画面中央に「レコーダー開始中、お待ちください」と表示後、
録画が始まります。
③ 録画を停止する場合は、リモコンの「停止」を 押します。

＊ 録画用メモリーの空き容量が足りない場合、
「ディスク容量が満杯です、お待ちください」と表示され録画されません。

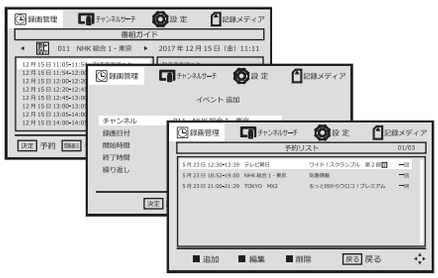
＊ 録画中は画面左上に「録画中」と点滅表示されます。

日時を指定して録画予約する（予約録画）

① リモコン「設定」を押して設定メニューを表示させます。
② 上段カーソルを「◀」「▶」で【 録画管理 】に合わせ「▲」「▼」で下段カーソルを【 指定録画 】に移動して「決定」を押します。
③「▲」「▼」「◀」「▶」「数字ボタン」で予約録画したい放送局や日時を設定して「決定」を押します。
④【 イベント追加 】画面が表示されたら各項目を確認して「決定」を押します。
⑤ 予約設定が成功すると予約リストが表示されます。
※予約リストが表示されたら設定を確認して「戻る」を押します。
※そのまま別の指定録画設定をおこなう場合は「赤」を押します。
※リスト上の設定を編集したい場合はカーソルを合わせて「緑」を押します。
※予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」を押します。

番組録画に関する各機能を使う

番組ガイドから録画予約する（予約録画）



① リモコン「EPG」で【番組ガイド】を表示させます。
②「▲／▼／◀／▶／赤／黄」で予約したい番組名に移動して「決定」を押します。
③【イベント追加】画面が表示されたら各項目を確認して「決定」を押します。
④ 予約設定が成功すると【予約リスト】が表示されます。

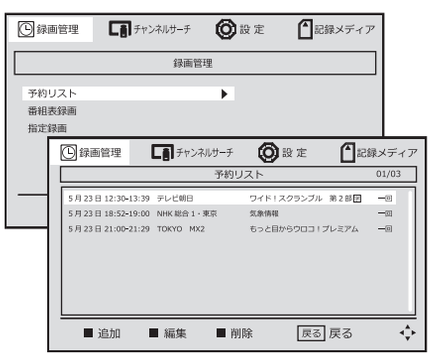
※【設定メニュー】→【録画管理】→【番組表録画】で、
番組ガイドの表示や録画予約も可能です。

⚠ 注意 ※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などはおこなわれません。このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択のうえ、手動で編集をおこなってください。

（例）
10:00 ～ 11:00 までの放送局 <A> の番組 <B> を番組ガイドから予約
→前の放送が急遽 10:30 まで放送延長になったため、番組 <B> は 10:30 からの繰り下げ放送になった
＊本機では予約時に設定した放送局 <A> の 10:00 ～ 11:00 の放送が録画がされます

予約の確認・編集（予約リスト）

予約設定の確認や編集は予約リストからおこないます。



■予約リストを表示する
①リモコン「EPG」を押す（番組ガイド表示）を押す
②【設定メニュー】 → 【録画管理】 → 【予約リスト】を選択

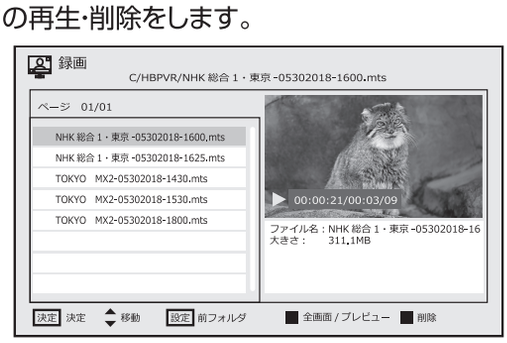
■予約リストから確認や編集・削除などをおこないます。
＊「赤」：リスト外の他の日時指定予約を追加します
＊「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動します
＊「緑」：カーソルで選択した予約の設定を編集します
＊「青」：カーソルで選択した予約の設定を削除します
＊「戻る」：一つ前の画面に戻ります

録画したデータの再生・削除

録画したテレビ番組データの再生･削除をします。

■リモコン「録画リスト」を押すと
録画したデータのリストが表示されます。

■録画リストから再生をおこないます。
＊「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動します
＊「決定」：カーソルで選択したデータを再生します
＊「タイムシフト」：再生中データの一時停止／再生をします
＊「停止」：再生中データを停止します
＊「◀◀」「▶▶」：再生中データの早戻し／早送りをします
再生速度は、ボタンを押すごとに次のように変わります



通常再生→ x2→x4→x8→x16→x32

＊「⏮」「⏭」：再生中データの前データへ／次データへ移動します
＊「赤」：画面サイズを切り換えます（全画面表示⇔プレビュー表示）
＊「青」：再生データの再生開始時間を設定します（Go to time 機能※）
＊「設定」：一つ上のフォルダへ移動します
＊「戻る」：テレビ放送視聴に戻ります

※Go to time 機能：録画データのスタート時間を指定して移動する機能です。
（例）録画時間 1 時間のデータで、40 分 10 秒後にスタート時間を指定して移動

＜録画データを削除する＞ ■録画リスト内の削除したいデータにカーソルを合わせ「黄」を押します。
※「黄」を押すとデータ左側に☑が付きます
→ 「決定」を一度押すと削除するか選択画面表示（決定／戻る）
→ 決定を選択して「決定」を押すとデータ削除が実行されます

⚠ 注意 ※一度削除したデータを復元することはできません。

番組録画に関する各機能を使う

タイムシフト機能を使う（便利機能）

<タイムシフト機能とは ...>

番組視聴中に「タイムシフト」を一度押すと押した所で放送が一時停止し、停止した場面の続きから録画用メモリ に録画していきます。再度押すと一時停止した場面の続きから違和感なく視聴できる機能です。

【こんな時に便利】 ・好きな番組を視聴中「ちょっと用足しに行かないと」...
・ドラマなどのクライマックスシーンで「宅配便で～す！」...

リモコン「タイムシフト」ボタンを押すと機能がスタートします

タイムシフト機能で使うリモコンボタンは「タイムシフト」「停止」「決定」「戻る」です。

＊タイムシフト機能の設定

●機能で使うメモリー容量の設定：

【設定メニュー】 →【 記録メディア】 →【メモリー管理】 →【 記録デバイス】 →【タイムシフト】の順に進み、「◀／▶」で 0.5GB ／ 1.0GB ／ 1.5GB ／ 2.0GB ／ 2.5GB ／ 3.0GB ／ 3.5GB ／ 4.0GB から選択します。

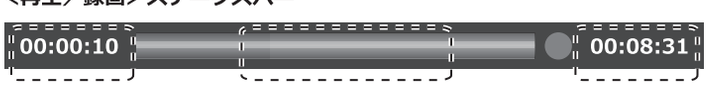
■番組視聴中に「タイムシフト」を押すと ...

放送が一時停止状態になり
・画面左上に <録画中>
・画面中央右に <一時停止マーク>

一時停止状態の続きからデータ再生
・画面左上に <録画中>
・画面中央右に <再生マーク>
・画面下部に <再生／録画バー>

放送が一時停止状態になり
・画面左上に <録画中>
・画面中央右に <一時停止マーク>
・画面下部に <再生／録画バー>

＊ <再生／録画> ステータスバー



一時停止／再生 時間表示　**使用容量表示**　**タイムシフト録画 トータル時間表示**

＊トータル時間表示：録画機能スタートから現在までの時間を表示します
＊一時停止／再生時間表示：機能スタートから何秒 (分 / 時間) 後に一時停止したか、または再生しているかを表示します
＊使用容量表示：設定したメモリー容量の中で、録画で使用中の容量（赤）と再生して空いた容量（青）を表示します
※一時停止状態で放置しておくと青で表示されている空き容量がだんだん減っていきます
空き容量が無くなると続きからの放送視聴はできなくなります

■タイムシフト機能を終了する場合　：　リモコン「停止」→「決定」 で通常のテレビ視聴に戻ります。

⚠ 注意

※録画用スロットに録画用メモリが正しく挿入されていない場合や本機が認識できない場合、ディスクの空き容量が少ない（10MB 以下）の場合、録画に関する機能を使用しようとするとエラー表示が出て設定ができません。（<メモリー設備なし> <予約無効> など）
エラー表示の原因をご確認のうえ、再度設定をおこなってください。

⚠ 注意

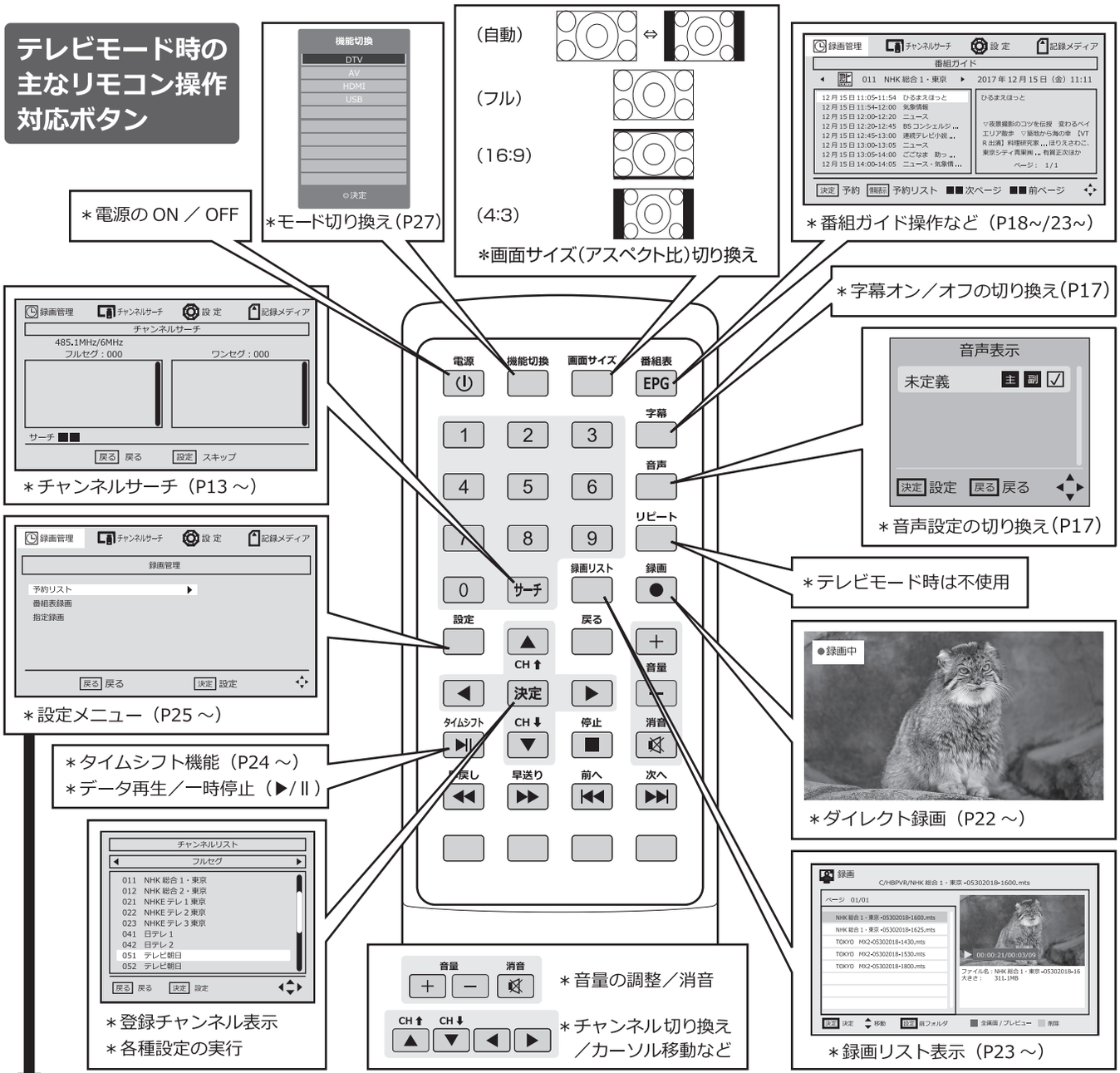
※外部メディア（USB メモリや HDD など）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読込み可能かをお試しください。
※外部メディアについての動作保証やサポートはおこなっておりません。あらかじめご了承ください。

※録画用メモリについての詳細は　P20 ～「録画用外部メモリの準備」をご参照ください。

テレビモード時のリモコン操作／各種設定

テレビモード時の主なリモコン操作や画面表示上メニューからおこなえる各設定項目の詳細などについての説明をご案内いたします。

テレビモード時の主なリモコン操作対応ボタン



設定メニュー

■録画管理：① 予約リスト→予約リスト表示
② 番組表録画→番組ガイド表示
③ 指定録画　→予約指定設定表示

■チャンネルサーチ：自動スキャン（受信番組登録）

赤 緑 黄 青 ＊番組ガイド／録画リスト／他のメニューの操作で使用
（使用する場合は画面上に都度対応ボタンの色が画面上に表示されます）

録画リスト タイムシフト 停止 戻る 設定 早戻し 早送り 前へ 次へ 赤 緑 黄 青
＊番組録画データの操作は上記の各ボタンを使用します

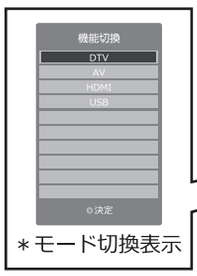
■設定：① 解像度（表示解像度を選択：480i ／ 480P ／ 720P ／ 1080i ／ 1080P ＊初期値は 1080P）
② 受信切換（自動／ワンセグ／フルセグ　＊初期値は自動）
③ 工場出荷時設定（工場出荷状態に設定を全てリセットします）
④ デバイス情報（システム情報の表示）
⑤ ファームウェア更新　※通常時は使用しません

■記録メディア（録画用 USB スロットにセットした録画用メモリ のデータ管理）：
① メディア再生（録画リストを表示）
② メモリー管理（録画用メモリ の管理設定画面を表示）
※詳細は P20 ～「録画用外部メモリの準備」をご参照ください

テレビ（DTV）モード時の本体設定

テレビ（DTV）モード時に映像画質や音質などをお好みの設定に変更したい場合におこなう操作方法についての説明をご案内いたします。

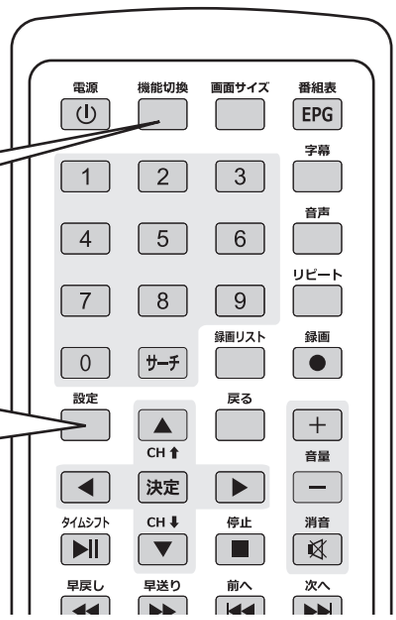
①リモコンの「機能切換」ボタンを押すと右図【モード切換タグ】が画面に表示されます。



＊モード切換表示

②【モード切換タグ】が表示された状態でリモコンの「設定」ボタンを押すと、右図【本体設定メニュー】が画面に表示されます。

＊本体設定メニュー



③【本体設定メニュー】で表示されている各項目を下記リモコンボタンでお好みの設定に変更することが可能です。

「▲」「▼」「◀」「▶」：カーソル移動	「決定」：実行（一つ先の選択肢に進む）
「設定」：一つ前の選択肢に戻る	「戻る」：本体設定メニューを閉じる

本体設定メニュー

■映像：
① 画面モード選択（標準／ソフト／カスタム／ダイナミック）
② コントラスト（0～100）
③ 明るさ（0～100）
④ 色彩（0～100）
⑤ シャープネス（0～100）
⑥ 色調（0～100）
⑦ 色温度（標準／低／高）　※低いと暖色系、高いと寒色系になります。
⑧ アスペクト比（16:9／フル／自動／4:3）　※リモコンの「画面サイズ」ボタンと同じ機能です。
⑨ ノイズリダクション（標準／切／弱／強／自動）

※②から⑥の設定を任意で変更すると、画面モード選択は【カスタム】に変更されます。
※②から⑥の設定はメインの画面を確認しながらおこないます。リモコンの「設定」ボタンで元のメニュー画面に戻ります。

■音声：
① 音声モード選択（標準／音楽／映画／スポーツ／カスタム）
② 高音（0～100）
③ 低音（0～100）
④ バランス（-50～0～+50）
⑤ 自動ボリューム（オフ／オン）
⑥ サラウンド（オフ／オン）

※②、③の設定を任意で変更すると、音声モード選択は【カスタム】に変更されます。

■時間：
① 日時設定（設定の順番は、日・月・年・時・分）
② オフタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土・日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
③ オンタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土・日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
④ スリープタイマー（オフ／ 10 分／ 20 分／ 30 分／ 60 分／ 90 分／ 120 分／ 180 分／ 240 分）
⑤ オートスリープ（なし／ 4 時間／ 6 時間／ 8 時間）

※オンタイマーで使用できるのは、外部入力のみです。AV/HDMI/USBから選択することができます。

■設定：
① 言語／ Language（日本語／英語）
② 工場出荷時設定（実行しますか？「はい／いいえ」）

付加機能を使う

以下の項目は本機に搭載されている付加機能（外部メモリデータ再生機能やモニター機能など）についての説明などをご案内いたします。

外部機器と接続する ..... 27　　外部メモリデータの再生 28

外部機器と接続する

外部機器と接続する場合、本体側面の各端子と接続します。接続したい外部機器に対応した各端子に接続してください。

●外部データ再生用 USB スロット：
市販の外部メモリ（USB メモリ や HDD など）に、パソコンなどから取り込んだ音楽や動画のデータを本機で視聴・再生する際に使用します。　※データ再生機能の詳細は P28 ～をご参照ください。

●AV 入力用端子：　付属の AV ケーブルを使用して外部機器と RCA 接続する際に使用します。

●HDMI 入力用端子：　市販の HDMI ケーブルを使用して外部機器と接続する際に使用します。
（本機への入力専用端子です。本機から外部機器へのデータ出力はできません）
（HDMI ケーブルは付属しておりません。別途電気店などでご用意ください）

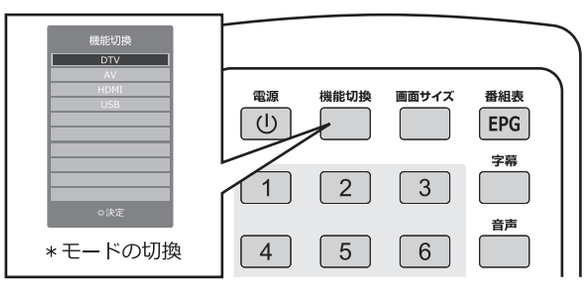
●音声出力用端子：　イヤホンや外付けスピーカーなどの外部機器と接続する際に使用します。

✪録画用 USB スロット：　テレビ番組の録画機能に関する専用のスロットです。こちらのスロットにパソコンなどから取り込んだデータの視聴・再生はできません。

✪miniB-CAS カードスロット：miniB-CAS カードは地デジ放送（フルセグ）を視聴する際に常時挿入が必須のカードです。
（miniB-CAS カードの準備に関しては P11 ～をご参照ください）

入力ソース（モード）を切り換える

■リモコン「機能切換」を押す
→　外部機器のモード切換え表示（※数秒で消えます）
→　「▲／▼」で使用する外部機器にカーソルを移動して「決定」
→　接続した各外部機器からの入力ソースに切り換わります



＊モードの切換

⚠注意　※「AV」モードおよび「HDMI」モードにすると本機は外部機器からの入力ソースのモニターとして作動します。外部機器の操作などは本機ではできません。

外部メモリデータの再生

本機には静止画や動画などを再生するソフトを搭載しています。
外部メモリ データ再生用スロット側に USB メモリや HDD を接続し、入力モードを切り換えると
搭載ソフトが起動してメモリ 内に保存されているデータの再生などがおこなえます。

■再生可能なファイル形式：　＊静止画 (拡張子）: JPEG(.jpg)/BMP(.bmp)
＊動画（拡張子）: MP4(.mp4)/MPEG-PS(.mpeg.mpg)/WMV(.wmv)/AVI(.avi)/3GPP(.3gp)
＊音楽（拡張子）: MP3(.mp3)/WMA(.wma)/WAV(.wav)/AAC(.m4a/.aac など)
＊テキスト（拡張子）: テキストファイル（.txt）

⚠ 注意
※上記ファイル形式でも高画質（高解像度）データや圧縮率・コーデックの不一致などで映像が出ない／音が出ない／読み込みできないなどが起こる場合があります。
※記録された順序で再生されない場合があります。また記録状況により音飛びや読み込まない場合があります。

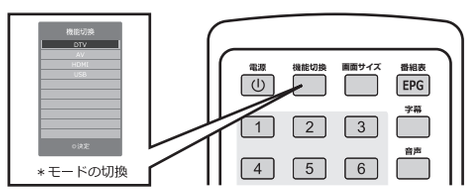
⚠ 注意
■本機と接続して使用される外部メモリ のファイルシステム形式にご注意ください。
※本機で使用可能な外部メモリ（USB メモリ や HDD など）は <FAT32 形式> または <NTFS 形式> で フォーマットされたメモリのみ使用できます。（FAT16 形式や exFAT 形式のメモリは使用できません）

⚠ 注意
※外部メディア（USB メモリ や HDD など）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読込み可能かをお試しください。
※外部メディアについての動作保証やサポートはおこなっておりません。あらかじめご了承ください。

メモリー内のデータを再生する

① 本機の <外部メモリデータ再生用スロットにデータが保存されたメモリ を接続します。

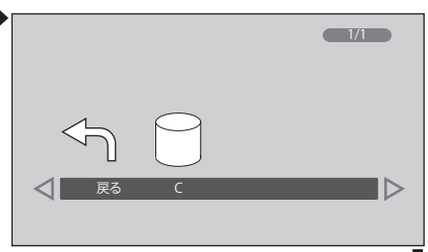
② リモコン「機能切換」でモードを【USB】に切り換えます。



③ USB モードに画面を切り換えた後、「◀」「▶」で再生したい項目に移動して「決定」を押します。

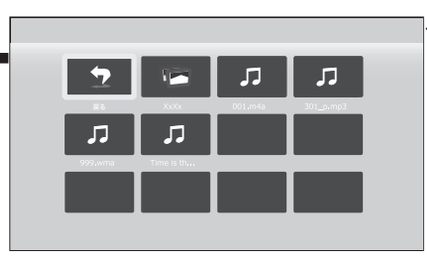
＊選択項目：静止画ファイル再生　／　音楽ファイル再生
／動画ファイル再生　／　テキストファイル表示

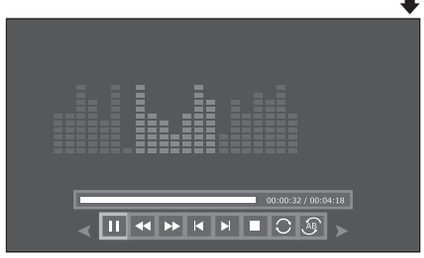
④ 再生する項目を選択後「決定」を押すとデバイス項目に移動します。（＊選択項目：戻る　／　[C]　）
[C] を選択して「決定」を押すと読込み可能なデータ（またはフォルダ）が表示されます。



⑤ 再生したいデータにカーソルを移動するとプレビュー画面でデータが再生されます。「決定」を押すと画面が切り換わり、本再生がスタートします。

＊再生を停止する場合は「停止 (■)」
＊一つ前に戻る場合は「戻る」





外部メモリデータの再生

データ再生時の操作 ＜操作バー＞

データ再生中は画面にく操作バー＞が表示されます。
ただし、動画ファイルおよびテキストファイル再生の場合は、リモコンの「決定」ボタンを押して表示させます。
いずれの場合も、リモコンの「戻る」ボタンを押すと表示を消すことができます。

＜静止画ファイル再生＞

- 再生／一時停止（＝【タイムシフト】ボタン）
- 前へ（＝【前へ】）
- 次へ（＝【次へ】）
- 停止（＝【停止】）
- リピート再生設定（＝【リピート】）
  ※ 全サイクル：全てのファイルをリピート再生
  無サイクル：リピートなし
  ラウンドロビン：1つのファイルをリピート再生
- 音楽
  ※メモリー内に音楽ファイルがある場合、BGMの有無を選択
- プレイリスト：静止画(画像)ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 情報：再生中データの情報表示
- 回転／反転：画像を90度右へ回転
- 回転／反転：画像を90度左へ回転
- 拡大ズーム：最大8倍拡大表示
- 縮小ズーム：最小1/4倍縮小表示
- Move View(※本機では使いません)
- スライドショー
  (標準／ランダム／ブロック／対角／ワイプ／スライド／フェード)

＜音楽ファイル再生＞

- 再生／一時停止
  （＝【タイムシフト】ボタン）
- 早戻し(＝【早戻し】)
  ※再生 / x2/x4/ x8/ x16
- 早送り(＝【早送り】)
  ※再生 / x2/x4/ x8/ x16
- 前へ（＝【前へ】）
- 次へ（＝【次へ】）
- 停止（＝【停止】）
- リピート再生設定（＝【リピート】）
  ※ 全サイクル：全てのファイルをリピート再生
  無サイクル：リピートなし
  ラウンドロビン：1つのファイルをリピート再生
- AtoBリピート：
  セット地点Aから地点Bまでの間を
  リピート再生させる設定機能
  ※セットなし → 【決定】：A地点セット →
  【決定】：B地点セット&リピート設定 → セットなし
- 消音(＝【消音】)
- プレイリスト：
  音楽ファイルとして認識したファイルを
  リスト表示
- 情報：
  再生中データの情報表示
- スキップ：
  「検索時間入力」で指定した時間
  から再生

＜動画ファイル再生＞

- 再生／一時停止
  （＝【タイムシフト】ボタン）
- 早戻し(＝【早戻し】)
  ※再生 / x2/x4/ x8/ x16/ x32
- 早送り(＝【早送り】)
  ※再生 / x2/x4/ x8/ x16/ x32
- 前へ（＝【前へ】）
- 次へ（＝【次へ】）
- 停止（＝【停止】）
- リピート再生設定（＝【リピート】）
  ※ 全サイクル：全てのファイルをリピート再生
  無サイクル：リピートなし
  ラウンドロビン：1つのファイルをリピート再生
- AtoBリピート：
  セット地点Aから地点Bまでの間を
  リピート再生させる設定機能
  ※セットなし → 【決定】：A地点セット →
  【決定】：B地点セット&リピート設定 → セットなし
- プレイリスト：
  動画ファイルとして認識したファイルを
  リスト表示
- 情報：
  再生中データの情報表示
- スロー：
  【決定】を押すごとにスロー再生・
  倍速切換え
  ※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x1
- ステップ：
  【決定】を押すごとにコマ送り再生
- スキップ：
  「検索時間入力」で指定した時間
  から再生
- アスペクト比：画面サイズを選択
  (16:9／4:3／自動／フル)

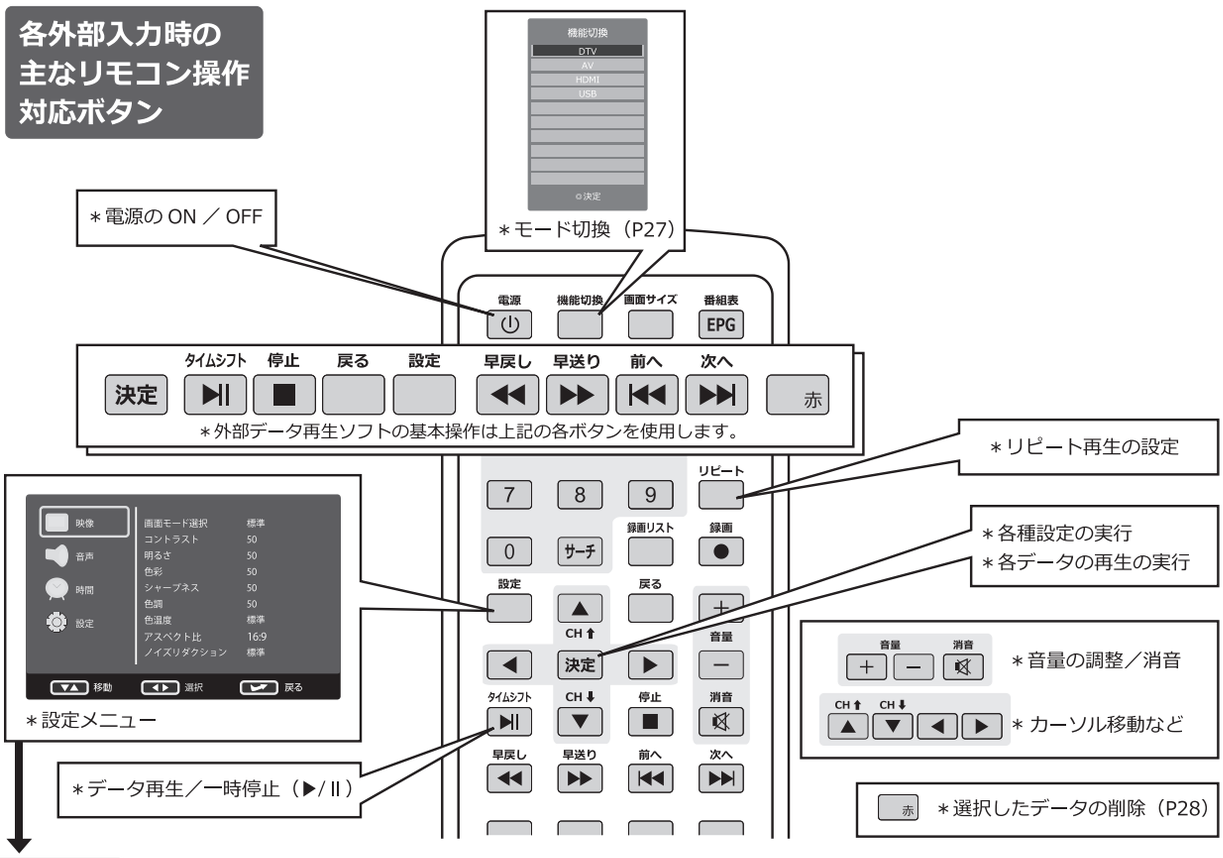
＜テキストファイル再生＞

※文字コードを「UTF-8」で保存してください。

- 前ページ(＝【早戻し】)
- 次ページ(＝【早送り】)
- 前へ（＝【前へ】）
- 次へ（＝【次へ】）
- 停止（＝【停止】）
- 音楽　※メモリー内に音楽ファイルがある場合、BGMの有無を選択
- プレイリスト：テキストファイルとして認識したファイルをリスト表示
- 情報：再生中データの情報表示

付加機能使用時のリモコン操作／各種設定

以下、外部入力（AV/HDMI/USB）各モード時の主なリモコン操作や画面表示上メニューからおこなえる各設定項目の詳細などについての説明をご案内いたします。



設定メニュー

■映像：
① 画面モード選択（標準／ソフト／カスタム／ダイナミック）
② コントラスト（0～100）
③ 明るさ（0～100）
④ 色彩（0～100）
⑤ シャープネス（0～100）
⑥ 色調（0～100）
⑦ 色温度（標準／低／高）　※低いと暖色系、高いと寒色系になります。
⑧ アスペクト比（16:9／フル／自動／4:3）　※リモコンの「画面サイズ」ボタンと同じ機能です。
⑨ ノイズリダクション（標準／切／弱／強／自動）

※②から⑥の設定を任意で変更すると、画面モード選択は【カスタム】に変更されます。
※②から⑥の設定はメインの画面を確認しながらおこないます。リモコンの「設定」ボタンで元のメニュー画面に戻ります。

■音声：
① 音声モード選択（標準／音楽／映画／スポーツ／カスタム）
② 高音（0～100）
③ 低音（0～100）
④ バランス（-50～0～+50）
⑤ 自動ボリューム（オフ／オン）
⑥ サラウンド（オフ／オン）

※②、③の設定を任意で変更すると、音声モード選択は【カスタム】に変更されます。

■時間：
① 日時設定（設定の順番は、日･月･年･時･分）
② オフタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土･日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
③ オンタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土･日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
④ スリープタイマー（オフ／ 10 分／ 20 分／ 30 分／ 60 分／ 90 分／ 120 分／ 180 分／ 240 分）
⑤ オートスリープ（なし／ 4 時間／ 6 時間／ 8 時間）

■設定：
① 言語／ Language（日本語／英語）
② 工場出荷時設定（実行しますか？「はい／いいえ」）

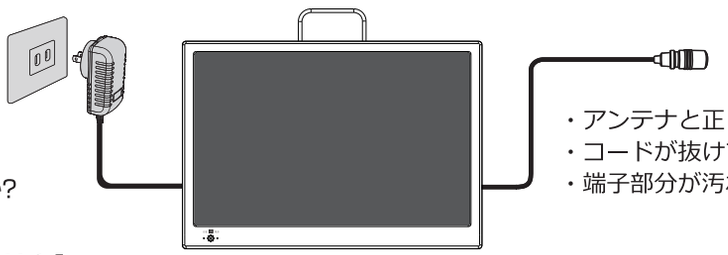
故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではない場合があります。修理・検査のご依頼前にもう一度ご確認ください。

【まずご確認ください】

「電源が入らない」「放送が映らない」などの場合は、まず電源およびアンテナの接続を確認してください。

・「ACアダプタとコンセント」
「ACアダプタと本体」は
正しく接続されていますか?
・ACアダプタが抜けていませんか?



・アンテナと正しく接続されていますか？
・コードが抜けていませんか？
・端子部分が汚れていませんか？

【こんな場合は故障ではありません】

- ●液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.999% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- ●キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする場合があります。これは設置場所の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- ●本機は電源が「待機」状態のときに番組情報取得などの動作をおこなうため、内部から「カチッ」という音が聞こえる場合があります。

こんな場合は ...		こちらをご確認ください
電源	電源が入らない	・電源プラグ⇔コンセント／電源コード⇔本機が抜けていませんか？ ・内部処理をおこなっているときは操作の反応が遅い場合があります。 →この場合、約 1 分ほど待ってから再度電源を入れてください。
	急に電源が切れた	・オフタイマーが設定されていませんか？ →外部入力モードの設定メニューからオフタイマー設定をご確認ください。
リモコン	リモコン操作が できない	・リモコンの乾電池が消耗していませんか？ （付属の電池は試用に付、ご購入後早めに新しい電池と交換してください ） ・乾電池のプラス／マイナスが逆になっていませんか？ ・リモコンをテレビ側リモコン受光部に正しく向けて操作していますか？ ・リモコンとテレビの間に遮蔽物はありませんか？
	CH＋/－ボタンで 特定のチャンネルが 選局できない	・チャンネル登録はされていますか？ →アンテナとの接続やアンテナの方向などをご確認の上、再度チャンネルサーチをおこなってください。 ※CATV やマンションの共聴システムをご利用の際はパススルー方式での受信に対応しているかご確認ください。
テレビを見ているとき	映像も音声も出ない	・アンテナ線が外れていませんか？ ・接続されていない入力先などに切り換えられていませんか？ ・外部機器との接続ケーブルが外れていませんか？
	映像は出るが、音声 が出ない	・消音状態になっていませんか？・音量が 0 になっていませんか？ ・イヤホン端子にイヤホンなどを接続していませんか？ ※HDMI 入力の場合、外部機器側の出力が映像のみの場合があります。
	外部機器を視聴中に 片側のスピーカーし か音が出ない	・音声に関係する入力端子の接続ケーブルが外れていませんか？ ・音声端子部がしっかりと挿入されているかご確認ください。
	音声に異音が入る 映像にノイズが出る	・本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか？ →無線機器類は本機と離してご使用ください。 ・アンテナの向きがずれていませんか？

故障かな？と思ったら（つづき）

こんな場合は …		こちらをご確認ください
テレビを見ているとき	映像が乱れる	・アンテナケーブル（元側／本機側）が外れていませんか？ ・アンテナケーブルの断線などはありませんか？ ・設置されているアンテナの向きがずれていませんか？故障していませんか？ ・近所で落雷や電波障害などは起きていませんか？ ・１本のアンテナ線を複数のテレビやチューナーなどに接続していませんか？ ・本機の近くで電磁波を発生させる電気製品を使用していませんか？ ・映像調整は正しく設定されていますか？ ・受信チャンネルは正しく設定されていますか？ ・チャンネルが変更されていませんか？ →製品出荷時以降にチャンネルが変更されている（放送局や中継局の増設など）場合は、チャンネルの再設定が必要になる場合があります。
	縦線状の妨害が出て見えない	・アンテナやアンテナ端子部分への妨害電波の影響が考えられます。 →アンテナケーブルは、同軸ケーブル（市販品）をお使いください。 →アンテナの高さや向きを調整すると、妨害電波をある程度抑えられます。 ・外部機器の映像を視聴している場合は、接続や設置場所をご確認ください。
	色が薄い 色合いが悪い	・旧アナログ放送時の番組の再放送を視聴される場合、画像が著しく悪く見える場合はあります。この場合、本製品の故障ではありません。 ・映像調整は正しく設定されていますか？ ・受信チャンネルは正しく設定されていますか？ ・各映像端子の接続は正しくつながっていますか？外れていませんか？
	デジタル放送が映らない	・miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？ →miniB-CAS カードを正しく挿入しないと、地デジ放送は視聴できません。 ・miniB-CAS カードの IC 部分が汚れていませんか？変形などしていませんか？ →IC 部分ときちんと接触しないと、本機がカードを認識できずに地デジ放送が視聴できません。miniB-CAS カードは丁寧にお取り扱いください。
	設置場所を変えたら（引っ越ししたら）視聴できなくなった … など	・本機の設置場所をほかのエリアに移動させた場合、改めて受信チャンネルを設定しなおす必要があります。本書「チャンネルの初期設定」をご参照のうえ、正しくチャンネル設定をおこなってください。
	音声に異音が入る 映像にノイズが出る	・本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか？ →無線機器類は本機と離してご使用ください。 ・アンテナの向きがずれていませんか？ ・受信電波信号が弱い状態ではありませんか？→受信レベルをご確認ください。
その他	番組の録画ができない 録画データの視聴ができない … など	・本機と接続した録画用メモリーのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか？ →本機対応ディスク形式：「FAT32」 ・録画用メモリーの空き容量は足りていますか？ ・保存されたデータが壊れていませんか？ ※外部メディアについての作動保証およびサポートはおこなっておりません。
	外部メモリーのデータが再生できない	・本機と接続した録画用メモリーのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか？ →本機対応ディスク形式：「FAT32」 ・保存されているデータが壊れていませんか？ ・外部データのファイル形式が本機に対応した形式で保存されていますか？ →拡張子：（.jpg）など ※外部メディアについての作動保証およびサポートはおこなっておりません。

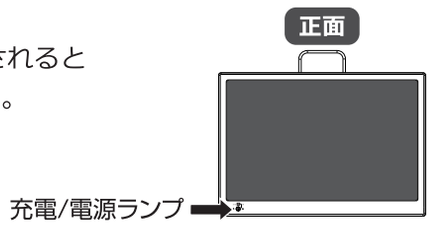
【ご確認ください】
その他症状などがでて、上記項目や本書内容をご確認しても症状が改善されない場合、一度「工場出荷設定」をおこない、本体システムをリセットしてみてください。（ご参照 ☞P26・P30：設定メニュー ＞ 設定 ＞ ② 工場出荷設定）

内蔵充電池について

本機にはリチウムイオン充電池（Li-po）が内蔵されております。充電方法などについて、以下をご参照ください。

内蔵電池に充電する

本体電源入力端子に電源アダプタを接続しコンセント側を差して本体に通電されると
内蔵充電池に充電されます。充電中は本体正面の充電ランプが赤く点灯します。
（満充電になると充電ランプは緑色に点灯します）
※ACアダプタと本体との接続については、P12をご参照ください。



⚠ 注意

- ご購入時の充電池は十分に充電された状態ではありません。
- 充電池はその特性上、高温時および低温時での充放電において容量が低下いたしますが、異常ではありません。
- 充電池は消耗品です。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ充電池の容量は少しずつ低下します。
  使用できる時間が大幅に短くなった場合は、サポートセンターにご相談ください。
  （充電池は消耗品のため、無償保証の対象外です。電池の交換は有償での対応となります。）

（重要）リチウム電池の特性上、充電池の性能が著しく低下した状態で充放電を繰り返すと、異常な発熱や膨張などの症状が出る場合があります。このような場合は、ACアダプタをコンセントから外して通電および本機の使用を止めてください。（目安：充放電回数：約 500 回前後）

（重要）お客様ご自身による本体の開封や電池交換をされた場合、いかなる状態でも無償保証の対象外となりますのでご注意ください。

製品仕様

品名		14.1型ポータブルTV
品番		OT-FT141TE
画面	パネル	14.1インチ液晶
	画素数（水平×垂直）	1440×900
	アスペクト比	16:10
	コントラスト比	300:1（Typ.）（TM）
	応答速度	8（Typ.）（Tr/Td）ms
	視野角（水平×垂直）	45/45/25/30（Min.）（CR≥10）
受信範囲		UHF 470MHz-770MHz（UHF13-62CH）（CATV:C13-C63）
機能	Dデータ放送	BML対応
	電子番組表	EPG対応
入出力端子	HDMI	×1（Ver.1.4）
	アンテナ	×1（地上デジタル）
	USB（地デジ録画/再生用）	×1（Ver.2.0）
	USB（外部メモリーデータ再生用）	×1（Ver.2.0）
	AV（RCA）	×1（4極ミニ）
	イヤホン	×1（ステレオミニピン3.5Φ）
	miniB-CASカードスロット	×1
	電源（DC IN）	×1
スピーカー		2W+2W（ステレオ）
USBハードディスク対応最大容量		1TB
電源	ACアダプタ	入力：AC100V 50/60Hz 出力：DC12V 2A
	カーアダプタ	入力：DC12V 出力：DC12V 1.5A
	内蔵充電池（バッテリー）	DC7.4V（リチウムイオン） 容量：2500mAh 充電時間：約5時間（電源オフ状態） 連続視聴時間：約2時間
消費電力（待機時）		18W（1W）
年間消費電力		25kWh/年
外形寸法		約332mm（幅）×230mm（高さ）×30mm（奥行）
質量		約1221g
ACアダプタコード		約1.5m
付属品	リモコン（動作確認用コイン電池CR2025含む）、ACアダプタ、カーアダプタ、AVケーブル、イヤホン、簡易アンテナ、車載バッグ、miniB-CASカード、取扱説明書兼保証書	

※本製品は電子番組表（EPG：約7日分）と字幕・文字スーパー放送に対応しております。
※本製品の保証内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。
※ケーブルテレビ（CATV）を使用される場合、ケーブルテレビなどの取扱説明書を併せてお読みください。
※付属の単4形乾電池2本は動作確認用です。
※この製品は日本専用です。
※HDMI端子はARC（オーディオ・リターン・チャンネル）またはCEC（機器間で制御信号をやり取りするリンク機能）に対応していません。
※本製品仕様は、改良等のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

アフターサービス

■この製品は家庭用です。

この製品は家庭用です。業務用や長時間連続して使用しないでください。

■万一、本体を落としたり破損した場合は点検修理（有料）をご依頼ください。

お買上げの販売店または弊社サポートセンターへご相談ください。

■高温になる場所で使用しないでください。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くには放置しないでください。変色や故障の原因となります。

■保証書

この製品は保証書付きです。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。
保証期間は、お買上げ日より 1 年間です。

■修理をご依頼いただく際は

【保証期間中の場合】

製品に保証書を添えてお買上げの販売店または弊社サポートセンターへご相談ください。

【保証期間が過ぎている場合】

お買上げの販売店または弊社サポートセンターへご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

この製品の保有期間は製造打ち切り後 8 年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについてご不明な場合は

アフターサービスについてご不明な場合は、お買上げの販売店または弊社サポートセンターへご相談ください。

■販売: ダイヤモンドヘッド株式会社

■輸入: ティーズネットワーク株式会社
110-0005　東京都台東区上野5-8-5 フロンティア秋葉原4F

ティーズネットワーク　お客様サポートセンターのご案内

製品に関するお問合わせ窓口

0120-85-1184

受付時間：10時～17時
（土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く）

331-0811
埼玉県さいたま市北区吉野町1-359-32

WEBサイトからもお問合わせいただけます。

http://www.tsnetwork.jp/support/contact/form/

保 証 書

製品名　**14.1 型 ポータブルテレビ**		
品番　**OT-FT141TE**	保証期間　お買い上げ日から **本体 1 年間**	
お買い上げ日　　年　　月　　日		
お客様	〒　　ー ご住所	
	お名前　　**様**	お電話
販売店名・住所 電話　　印		

＊本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

■販売店様へ

お客様に製品をお渡しするときは必ず販売店印を捺印のうえ、販売日をご記入ください。

本書は上記期間中に故障が発生した場合に本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。所定記入欄に必要事項をご記入いただき、弊社お客様サポートセンターへ修理をご依頼ください。

※販売店の記入がない場合は本書は有効になりません。記入のない場合は直ちに販売店へお申し出ください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、安全点検活動において法律上許される場合以外に使用することはありません。

この保証書は本書で明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

【無料修理規定】

1. 正常な使用状態（取扱説明書、本体に添付されたラベルなどに従って使用した状態）で保証期間内に故障した場合は、弊社が無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理依頼ができない場合は、弊社お客様サポートセンターへご相談ください。
3. 保証期間内であっても、次のような場合は有料修理となります。
   （イ）使用上の誤りや不当な修理、改造による故障や損傷。
   （ロ）お買い上げ後の転倒・取り付け場所の移動・輸送・落下などによる故障や損傷。
   （ハ）火災・地震・風水害・ガス害・落雷・その他天災地変・公害や異常電圧その他の外部要因による故障や損傷。
   （ニ）一般家庭用以外（業務用としての長時間使用、車両や船舶への搭載など）に使用された場合の故障や損傷。
   （ホ）本書をご提示いただけない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない、あるいは字句を書き換えられた場合。
   （ト）譲渡・転売・中古販売・オークションなどにて入手された場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても保証いたしかねます。

輸入元: **ティーズネットワーク株式会社**
110-0005　東京都台東区上野5-8-5　フロンティア秋葉原4F